

## 2 県立高等学校新整備計画期間満了後の取組状況及び新しいタイプの学校等の検証

### (1) 県立高等学校新整備計画における再編整備の実施状況及び計画期間満了後の取組

実施年度	実施地区	再編整備の内容 (新校の種類)	再編整備対象校 (学級数)	新校の校名 (学級数)	施設整備の状況等
<b>&lt;前期計画(平成12～16年度)&gt;</b>					
H14	岩手中部	改編(総合選択制高校)	花巻南高校(6)	花巻南高校(6)	
	両磐	統合(普通科・専門学科併設校)	千厩高校(4) 千厩東高校(3) ○	千厩高校(7)	校舎改築等実施
H15	岩手中部	統合(農業専門高校)	花巻農業高校(5) ○ 北上農業高校(2)	花巻農業高校(3)	
	岩手中部	改編(総合的専門高校)	花北商業高校(3)	花北青雲高校(4)	校舎改築等実施
	宮古	統合(本校への統合)	岩泉高校(3) ○ 岩泉高校小川校(1)	岩泉高校(3)	
H16	盛岡	改編(総合学科高校)	紫波高校(6)	紫波総合高校(6)	校舎改築等実施
	岩手中部	改編(総合学科高校)	黒沢尻南高校(5)	北上翔南高校(6)	校舎改築等実施
	両磐	統合(総合学科高校)	一関第二高校(6) ○ 一関農業高校(2)	一関第二高校(6)	校舎改築等実施
	久慈	統合(総合学科高校)	久慈農林高校(3) ○ 久慈商業高校(3) 久慈水産高校(2)	久慈東高校(6)	校舎改築等実施
<b>&lt;後期計画(平成17～21年度)&gt;</b>					
H17	二戸	改編(総合学科高校)	一戸高校(4)	一戸高校(4)	校舎改築等実施
H18	両磐	統合(普通科・専門学科併設校)	大東高校(4) ○ 大原商業高校(2)	大東高校(5)	産業振興棟増築
	両磐	統合(普通科・専門学科併設校)	千厩高校(6) ○ 藤沢高校(2)	千厩高校(6)	
H20	岩手中部	統合(普通科高校)	花巻北高校(7) ○ 東和高校(2)	花巻北高校(7)	
	胆江	統合(普通科高校)	水沢高校(7) ○ 胆沢高校(1)	水沢高校(7)	
	気仙	統合(普通科・専門学科併設校)	高田高校(普通3) ○ 広田水産高校(水産1)	高田高校(5)	校舎改修等実施
	気仙	統合(総合的専門高校)	大船渡農業高校(2) 大船渡工業高校(3) ○ 高田高校(情報1) 広田水産高校(家政1)	大船渡東高校(5)	校舎改築等実施
	釜石 遠野	統合(普通科高校)	釜石南高校(5) ○ 釜石北高校(2)	釜石高校(6)	校舎改築等実施
	釜石 遠野	統合(本校への統合)	遠野高校(4) ○ 遠野情報ビジネス校(1)	遠野高校(4)	
	宮古	統合(本校への統合)	宮古高校(6) ○ 宮古高校川井校(1)	宮古高校(6)	
	久慈	統合(本校への統合)	久慈高校(5) ○ 久慈高校山形校(1)	久慈高校(5)	
	久慈	改編(多部制高校)	久慈高校長内校(1)	久慈高校長内校(2)	校舎改修等実施
	二戸	改編(本校の分校化)	浄法寺高校(1)	福岡高校浄法寺校(1)	
H21	胆江	統合(総合学科高校)	岩谷堂高校(5) 岩谷堂農林高校(2) ○	岩谷堂高校(6)	校舎改築等実施
	胆江	新設(多部制・単位制高校)	[水沢高等看護学院]	杜陵高校奥州校(2)	校舎改修実施
	両磐	改編(併設型中高一貫校)	一関第一高校(6)	一関第一高校附属中学校(2)	校舎改修等実施
	釜石 遠野	統合(総合的専門高校)	釜石工業高校(3) ○ 釜石商業高校(2)	釜石商工高校(5)	校舎改築等実施
計	26件	統合17件、改編8件、新設1件	対象校累計43校		
<b>&lt;計画期間満了後の取組(平成22～26年度)&gt;</b>					
H22	宮古	募集停止	岩泉高校田野畑校(1)		H23年度末 閉校
H26	二戸	募集停止	福岡高校浄法寺校(1)		H27年度末 閉校予定

※ 再編整備対象校の○印は、新校を設置した高校を示す。

## (2) 総合選択制高校の現状

### ア 総合選択制高校の検証[花巻南高校・(不来方高校)]

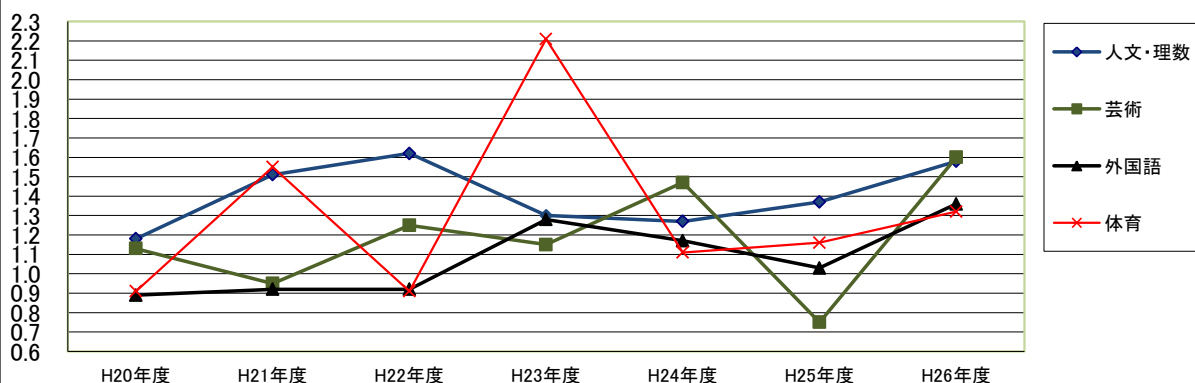
	現 状	成 果	課 題
志 願 状 況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度により、志願倍率の上下はあるが、外国語関係の学系の志願倍率は他の学系と比較し低い傾向にある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般に志願意欲が高く、目的意識のある生徒が入学している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学系により生徒の学力差が大きいことから、個々に対応した指導が求められる。</li> </ul>
総合選 択制の システム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普通科系の学系は一括募集を行っている。</li> <li>・専門性の高い学系については、学校設定科目を開設する等、特色を持たせている。</li> <li>・専門分野の学系だけでなく、興味等に応じて他の学系の科目を選択履修することが可能である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が自分の興味関心に応じて教育実践や多様な進路に対応できる。</li> <li>・普通科であることから、専門科目の単位数に縛られることなく、学系の特色を出すことができる。</li> <li>・専門性の高い学系は、少人数指導としているため専門性を追求することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門学系の中には、高い専門性が求められるものもあり、教員の確保が難しい面がある。</li> <li>・多様な選択科目を開講するため、それに見合った教員の配置が必要である。</li> <li>・他の学系の科目を選択する生徒の中には、目的意識にバラツキがあり指導が難しくなってきたケースもある。</li> </ul>
学 習 指 導 面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・限られた教員数で選択科目に対応するため、学系を組み合わせで選択クラスを編制している。</li> <li>・専門性を重視しつつ、国公立大学への進学に対応できる教育課程を編成している。</li> <li>・専門学系は多様な進路に対応するよう選択科目に配慮している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学系や科目を選択することができることから、学習に対する意欲・態度の向上が認められる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人文・理数関係の学系では、進学希望者が多く、大学進学に対応するため、選択科目が制約される。</li> <li>・他の学系の科目を選択する生徒の中には、興味関心より負担の軽い科目を選択する傾向が見られる。</li> </ul>
生 徒 指 導 面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体として学習及び部活動に意欲的に取り組んでおり、落ち着いている。</li> <li>・文化部を希望する生徒が増加傾向にある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育系の学系を有することで能力の高い生徒が多く、部活動では、お互いを意識し合いながら切磋琢磨し、積極的に活動し成果を挙げている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動と学習との両立が難しい生徒が増えてきている。</li> </ul>
進 路 指 導 面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門学系の進路については、専門性を生かした進路実現となっている。一方で多様な進路先も増えている。</li> <li>・1年生で外部講師による講演や大学、企業等の見学会を実施しキャリア教育の充実に努めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門性の高い学系は、専門性を生かし、レベルの高い大学進学に繋がっている。</li> <li>・進路未決定者（その他）の割合が減少している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語関係の学系では、専門性を生かした進路は高いレベルが要求され一部の生徒の進路実現となっている。そのため、専門学校や就職など多様な進路先となっており、出口保障が課題となっている。</li> <li>・顧問が部活動を優先させたい場合もあり、課外等の調整が難しい。</li> </ul>
学 校 評 価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒及び保護者の学校評価においては、「学校生活に満足している」「本校に入学させて良かった」という肯定的な回答が80%となっており、概ね良い評価を得ている。</li> <li>・学系制については、学校の特色として地域に理解を得られている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・志願倍率（H26 入試 1.01 倍）や学校評価結果から、生徒、保護者には一定の評価が得られている。</li> <li>・普通科高校の中で、生徒の興味関心、進路希望に応じて多様な学習が出来るという特色ある学校として評価されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者のアンケート結果では、学習と部活動の両立及び家庭学習時間の確保について課題がある。</li> </ul>

### イ 総合選択制高校の志願者数及び入学者数の推移

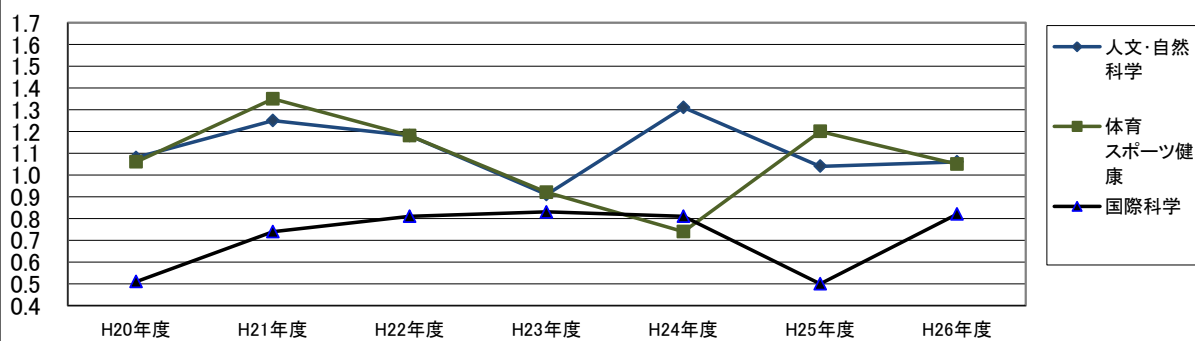
※志願倍率＝一般志願者数/(定員－推薦合格者数)

学校名	学系	項目	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	備考
不来方	人文・理数	定員	200	160	160	160	160	160	160	昭和63年度総合選択制高校として開校
		一般志願者数	212	218	233	186	183	197	228	
		志願倍率	1.18	1.51	1.62	1.3	1.27	1.37	1.58	
		入学者数	205	164	164	161	164	159	164	
		過不足	5	4	4	1	4	-1	4	
	芸術	定員	40	40	40	40	40	40	40	
		一般志願者数	35	21	25	23	28	15	32	
		志願倍率	1.13	0.95	1.25	1.15	1.47	0.75	1.6	
		入学者数	41	37	40	40	42	36	40	
		過不足	1	-3	0	0	2	-4	0	
	外国語	定員	40	40	40	40	40	40	40	
		一般志願者数	32	33	33	46	41	36	49	
		志願倍率	0.89	0.92	0.92	1.28	1.17	1.03	1.36	
		入学者数	38	41	41	40	42	40	40	
		過不足	-2	1	1	0	2	0	0	
	体育	定員	40	40	40	40	40	40	40	
一般志願者数		29	31	20	42	21	22	25		
志願倍率		0.91	1.55	0.91	2.21	1.11	1.16	1.32		
入学者数		39	41	41	41	40	40	40		
過不足		-1	1	1	1	0	0	0		
花巻南	人文・自然科学	定員	120	120	120	120	120	120	120	平成14年度総合選択制高校に改編
		一般志願者数	122	135	130	98	142	116	115	
		志願倍率	1.08	1.25	1.18	0.91	1.31	1.04	1.06	
		入学者数	116	120	120	113	123	123	121	
		過不足	-4	0	0	-7	3	3	1	
	体育スポーツ健康	定員	40	40	40	40	40	40	40	
		一般志願者数	34	27	26	22	23	30	21	
		志願倍率	1.06	1.35	1.18	0.92	0.74	1.2	1.05	
		入学者数	40	41	40	38	37	42	41	
		過不足	0	1	0	-2	-3	2	1	
	国際科学	定員	40	40	40	40	40	40	40	
		一般志願者数	20	29	29	30	29	18	31	
		志願倍率	0.51	0.74	0.81	0.83	0.81	0.5	0.82	
		入学者数	25	36	36	35	41	23	38	
		過不足	-15	-4	-4	-5	1	-17	-2	

#### 不来方高校の志願倍率推移

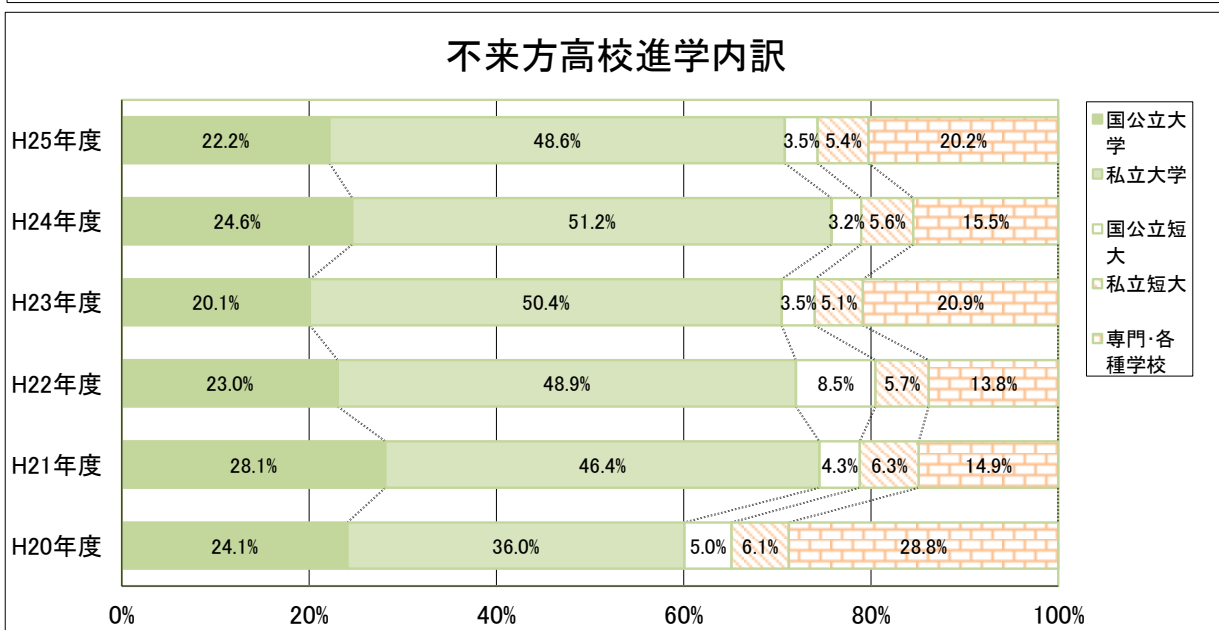
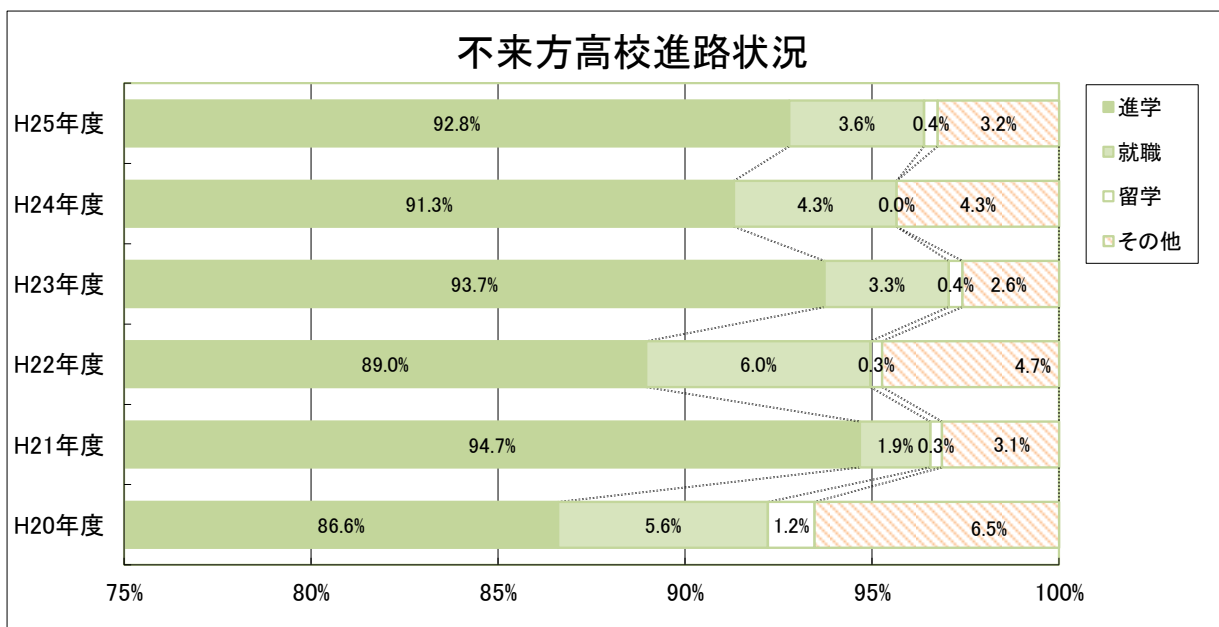


#### 花巻南高校の志願倍率推移



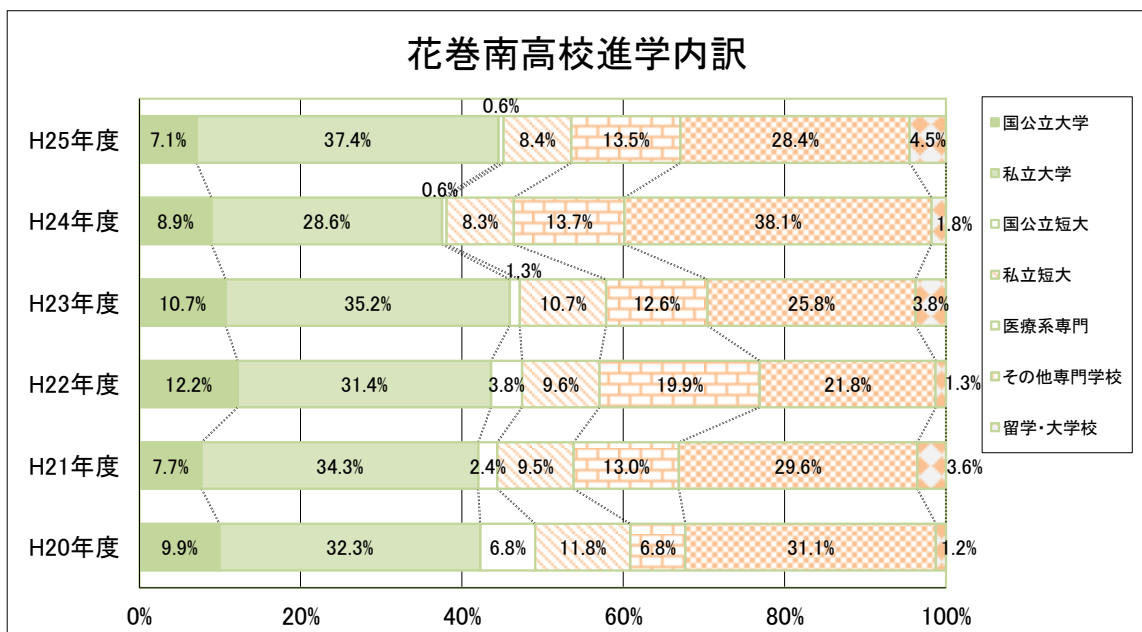
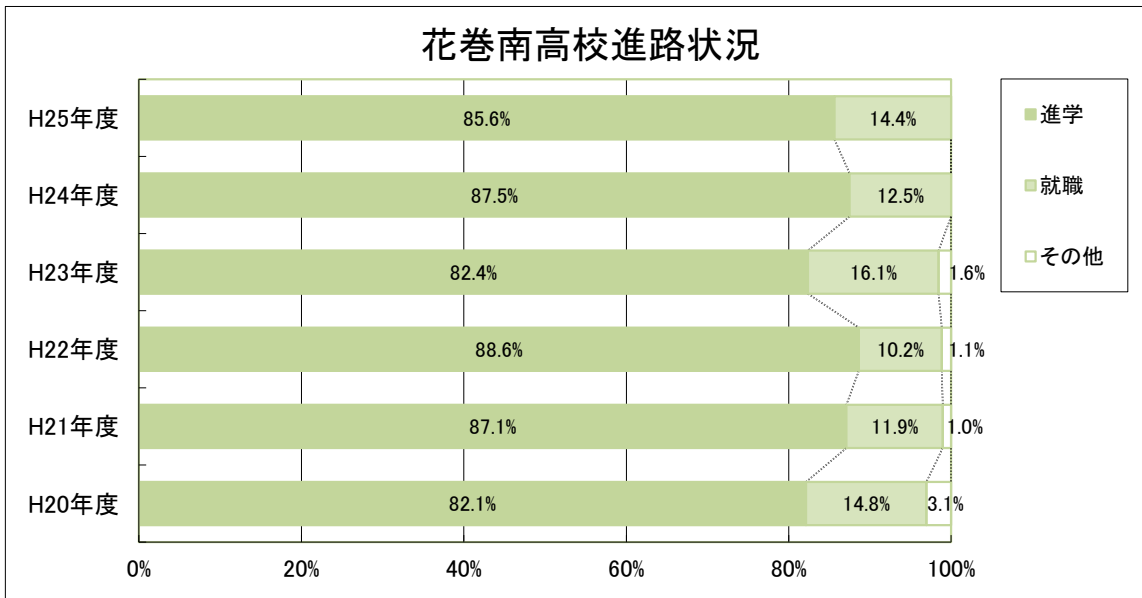
ウ 総合選択制高校の進路状況  
〔不來方高校〕

卒業年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
学科	普通科（人文・理数・芸術・外国語・体育学系）					
卒業生数	321	319	317	271	276	277
進学	278	302	282	254	252	257
国公立大学	67	85	65	51	62	57
私立大学	100	140	138	128	129	125
国公立短大	14	13	24	9	8	9
私立短大	17	19	16	13	14	14
専門・各種学校	80	45	39	53	39	52
就職	18	6	19	9	12	10
民間	13	5	10	3	8	6
公務員	5	1	9	6	4	4
留学	4	1	1	1	0	1
その他	21	10	15	7	12	9



ウ 総合選択制高校の進路状況(つづき)  
〔花巻南高校〕

卒業年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
学科	普通科（人文自然・スポーツ健康・国際科学学系）					
卒業生数	196	194	176	193	192	181
進学	161	169	156	159	168	155
国公立大学	16	13	19	17	15	11
私立大学	52	58	49	56	48	58
国公立短大	11	4	6	2	1	1
私立短大	19	16	15	17	14	13
医療系専門	11	22	31	20	23	21
その他専門学校	50	50	34	41	64	44
留学・大学校	2	6	2	6	3	7
就職	29	23	18	31	24	26
民間	29	22	18	29	23	23
公務員	0	1	0	2	1	3
その他	6	2	2	3	0	0



### (3)総合的な専門高校の現状

#### ア 総合的な専門高校の検証[花北青雲高校・大船渡東高校・釜石商工高校]

	現 状	成 果	課 題
志 願 状 況	<ul style="list-style-type: none"> <li>花北青雲高校の志願倍率は、H25 入試以降 1 倍を超えている。</li> <li>大船渡東高校と釜石商工高校は、志願倍率が 1 倍を切っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>調理師養成の資格要件を満たす学科は一定の志願者を維持している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校によっては、希望学科に全員入学できる状況から、基礎学力が低く、学び直しが必要となっている。</li> </ul>
総合的な専門高校のシステム	<ul style="list-style-type: none"> <li>他学科の専門科目を進路希望に応じて選択可能としており、その状況は以下の通りである。</li> <li>花北青雲高校 2 年生 10.5% 3 年生 10.2%</li> <li>大船渡東高校 2 年生 45.7% 3 年生 49.1%</li> <li>釜石商工高校 履修なし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>専門性を確保しながら、進路希望に応じて関連分野を選択履修することができる。</li> <li>他学科の基礎科目を学習でき、第 1 希望学科に入学できなかった生徒にとってはよい面がある。</li> <li>自分の所属学科の専門以外の分野に就職しようと考えている生徒にとってはプラスになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎学力を付け学び直しが必要となる生徒に確かな学力を身に付けさせるためには、他学科の科目を履修する余裕はないと感じている教員もいる。特に、工業系と商業系の相互選択履修については、消極的な意見がある。</li> </ul>
学 習 指 導 面	<ul style="list-style-type: none"> <li>2 年次以降コースを設定し、専門性の深化を図っている。</li> <li>全学校において学科間相互選択科目を開設している。</li> <li>調理師免許等の資格取得要件を満たすための教育課程を編成している学校・学科がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路希望に応じた科目選択が可能である。</li> <li>他学科の科目を選択することにより、視野を広め幅広い知識を身に付けることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>相互選択科目の設定については、双方の専門性を補完できるような設定が必要であり、より専門性を生かした進路に繋げる特長ある教育課程の設定が求められる。(例：農業と商業をつないだ 6 次産業化等)</li> </ul>
生 徒 指 導 面	<ul style="list-style-type: none"> <li>部活動は各部とも活発に活動しているが、部員不足に悩んでいる学校もある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>単独の専門高校では男女の生徒数が偏る場合が多いが、農業、工業、商業、家庭等の学科があり、全体として男女のバランスが良く、落ち着いた学校生活となっている。</li> <li>部によっては東北、全国大会に出場し成果が上がっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>整容や行動面等、基本的生活習慣に関わって指導が必要な生徒が多い学校もある。</li> </ul>
進 路 指 導 面	<ul style="list-style-type: none"> <li>進学と就職の割合は、概ね 4 : 6 となっている。</li> <li>県内に就職する生徒の割合が増加傾向となっている。</li> <li>インターンシップは 2 年次に全員で実施し、キャリア教育の充実に努めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>改編後、企業からは概ね望ましい職業観・勤労観が身に付いているとの評価がある。</li> <li>総合的な専門高校であることから、通常、自分の所属する学科からでは就職が難しい分野へ進む生徒もいる等、幅広い進路選択が可能となっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県内就職を希望する生徒が多いことから、生徒の状況に応じて職種及び勤務地等の幅を広げる指導が必要である。</li> <li>学科によっては、学習内容と関連の少ない就職や進学となっている学校もある。</li> </ul>
学 校 評 価	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校評価において「本校に入学して(入学させて)良かった」という肯定的な回答が 88%となっており、生徒や保護者からは概ね良い評価を得ている。</li> <li>学校ホームページの逐次更新、中学校開催の高校説明会への参加、中学生一日体験入学等で学校の学習内容等を説明し理解を図っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題研究発表会等で、他学科の学習内容について知ることができ、専門学習に対する視野を広げることができるとの評価がある。</li> <li>専門教育の専門性の確保については、統合前の学習内容を継承発展させ、研究発表や資格取得に熱心に取り組んでおり成果を挙げている。専門性を生かした進路先を確保している学科もあることから、単独の専門高校に劣らない成果を挙げていると認められる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学科ごとに行事や資格試験などの日程が異なり、教員は常に行事に追われ多忙感を持っている。</li> <li>専門が異なり教員の学科間の協力体制が取りにくいいため、教員相互の理解が必要である。</li> <li>総合的な専門高校のシステムについて、地域への理解を深めるための情報提供が必要である。</li> </ul>

### イ 他学科の専門科目の履修状況

学校名	学科間相互選択科目	他学科の科目の履修状況 (平成26年度)
花北青雲高校	工業技術基礎、簿記、ビジネス基礎、フードデザイン、家庭看護・福祉	2年生 10.5% 3年生 10.2%
大船渡東高校	生物活用、機械基礎Ⅰ、電気技術基礎、機械基礎Ⅱ、制御技術基礎、簿記、ビジネス基礎、フードデザイン	2年生 45.7% 3年生 49.1%
釜石商工高校	工業技術基礎、簿記	2、3年生とも履修なし

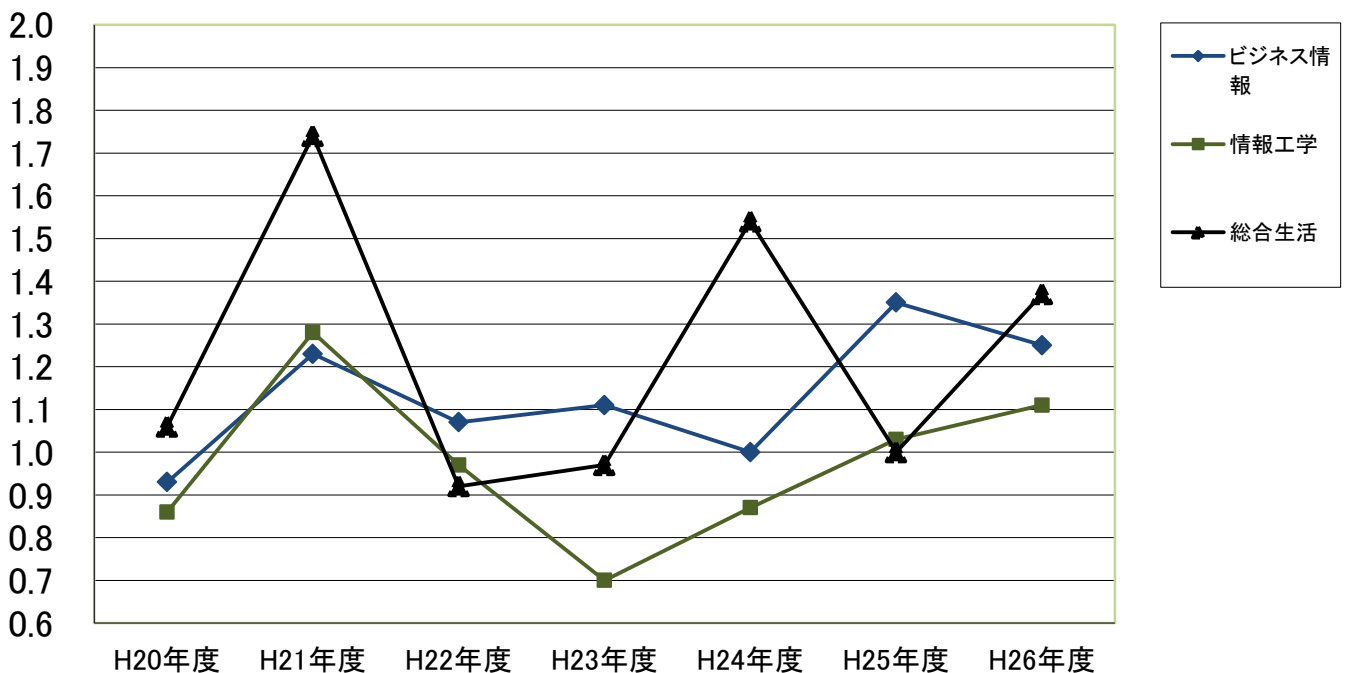
### ウ 総合的な専門高校の志願者数及び入学者数の推移

〔花北青雲高校〕

※志願倍率＝一般志願者数/(定員－推薦合格者数)

学校名	学科	項目	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	備考
花北青雲	ビジネス情報	定員	80	80	80	80	80	80	80	
		一般志願者数	67	87	76	80	71	96	89	
		志願倍率	0.93	1.23	1.07	1.11	1	1.35	1.25	
		入学者数	75	84	81	83	84	84	84	
		過不足	-5	4	1	3	4	4	4	
	情報工学	定員	40	40	40	40	40	40	40	
		一般志願者数	30	46	35	26	33	36	40	
		志願倍率	0.86	1.28	0.97	0.7	0.87	1.03	1.11	
		入学者数	35	42	37	34	34	42	41	
		過不足	-5	2	-3	-6	-6	2	1	
	総合生活	定員	40	40	40	40	40	40	40	
		一般志願者数	37	61	36	34	54	35	48	
		志願倍率	1.06	1.74	0.92	0.97	1.54	1	1.37	
		入学者数	42	42	37	40	42	42	42	
		過不足	2	2	-3	0	2	2	2	

### 花北青雲高校の志願倍率推移



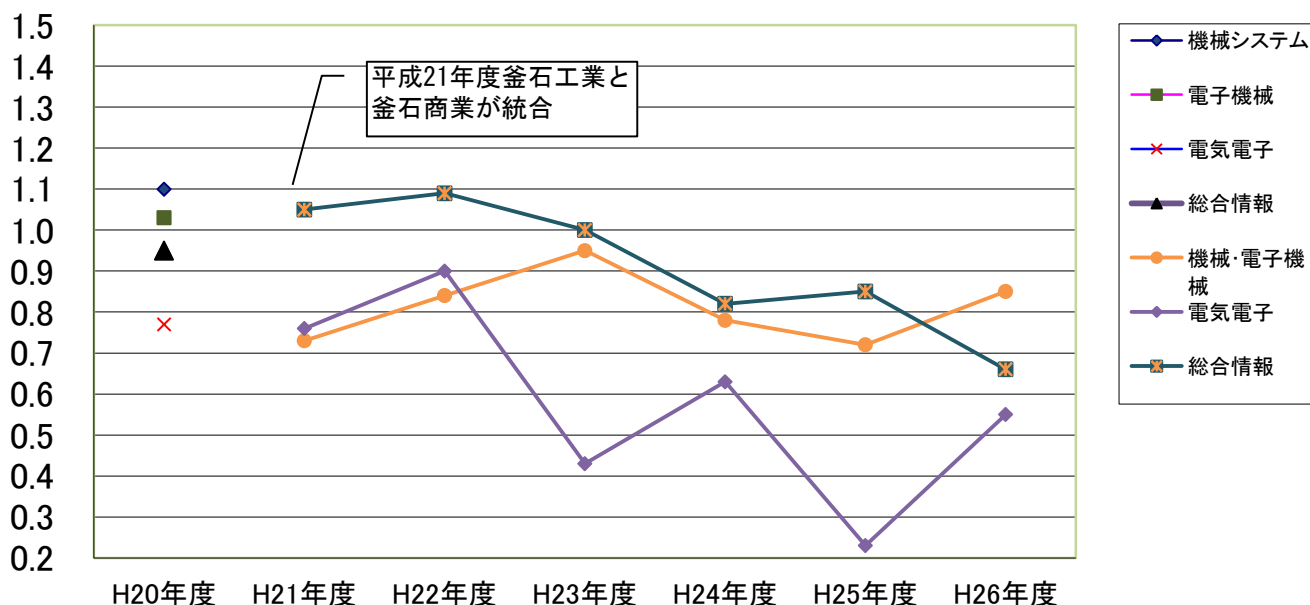
ウ 総合的な専門高校の志願者数及び入学者数の推移(つづき)

[釜石商工高校]

※志願倍率＝一般志願者数/(定員－推薦合格者数)

学校名	学科	項目	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	備考
釜石工業	機械システム	定員	40							平成21年度、釜石工業と釜石商業が統合
		一般志願者数	44							
		志願倍率	1.1							
		入学者数	40							
		過不足	0							
	電子機械	定員	40							
		一般志願者数	40							
		志願倍率	1.03							
		入学者数	40							
		過不足	0							
	電気電子	定員	40							
		一般志願者数	30							
志願倍率		0.77								
入学者数		37								
過不足		-3								
釜石商業	総合情報	定員	80							
		一般志願者数	74							
		志願倍率	0.95							
		入学者数	77							
		過不足	-3							
釜石商工	機械・電子機械	定員		80	80	80	80	80	80	
		一般志願者数		57	65	74	62	55	64	
		志願倍率		0.73	0.84	0.95	0.78	0.72	0.85	
		入学者数		60	69	75	56	55	65	
		過不足		-20	-11	-5	-24	-25	-15	
	電気電子	定員		40	40	40	40	40	40	
		一般志願者数		29	35	17	25	9	22	
		志願倍率		0.76	0.9	0.43	0.63	0.23	0.55	
		入学者数		31	36	16	24	8	20	
		過不足		-9	-4	-24	-16	-32	-20	
	総合情報	定員		80	80	80	80	80	80	
		一般志願者数		81	83	78	63	66	52	
		志願倍率		1.05	1.09	1	0.82	0.85	0.66	
		入学者数		81	81	76	65	65	53	
		過不足		1	1	-4	-15	-15	-27	

釜石商工高校の志願倍率推移





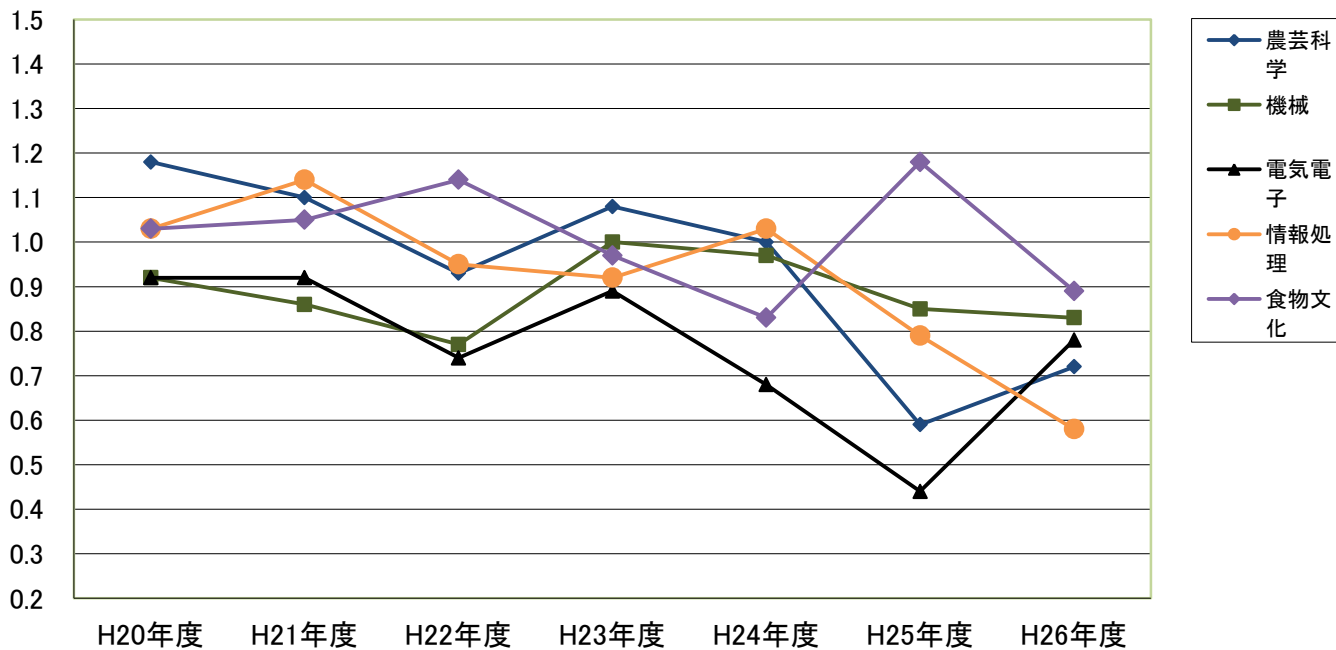
ウ 総合的な専門高校の志願者数及び入学者数の推移(つづき)

[大船渡東高校]

※志願倍率＝一般志願者数/(定員－推薦合格者数)

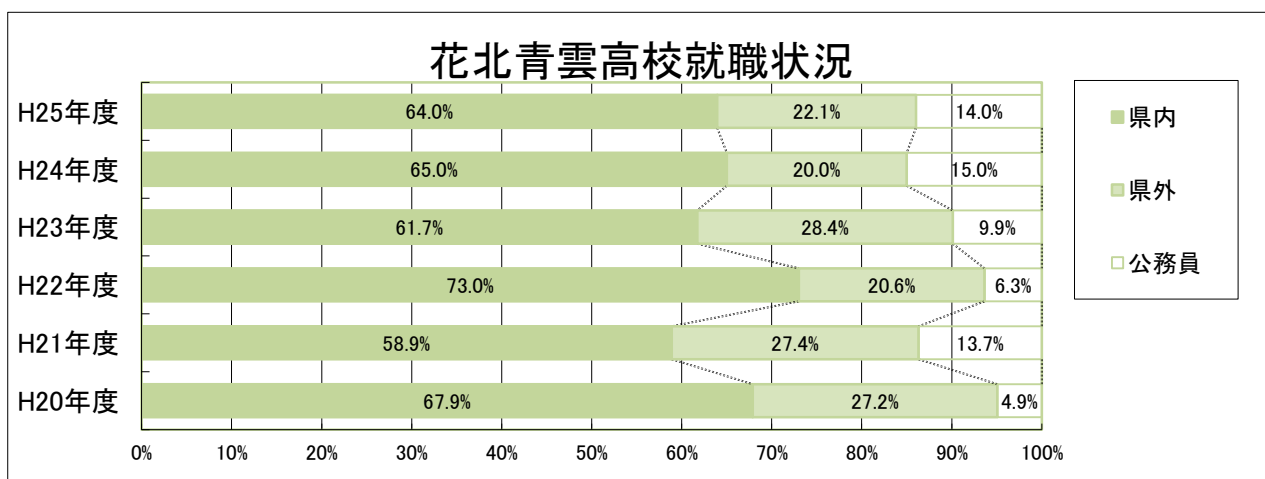
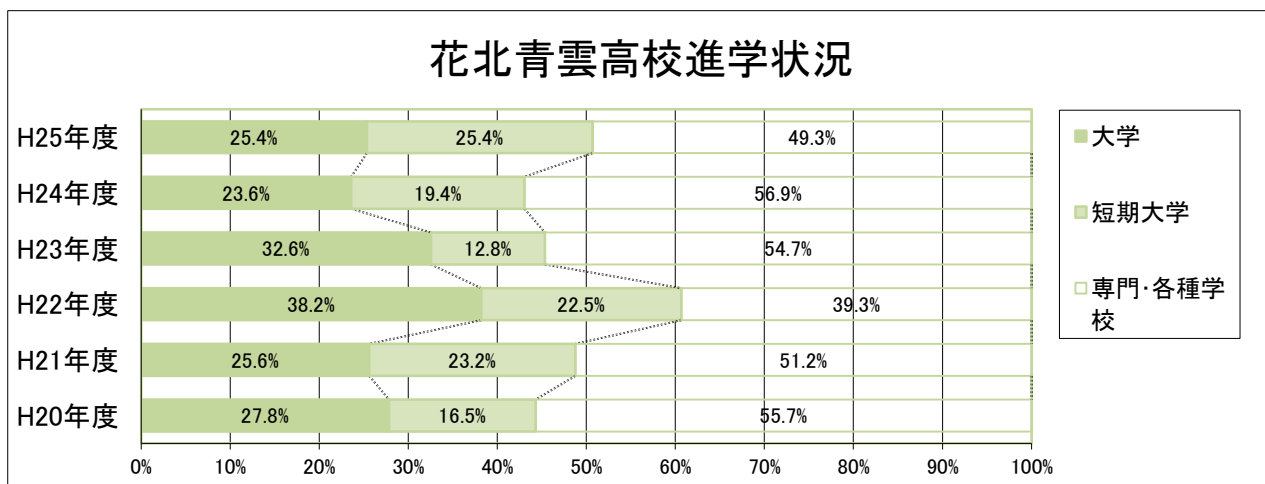
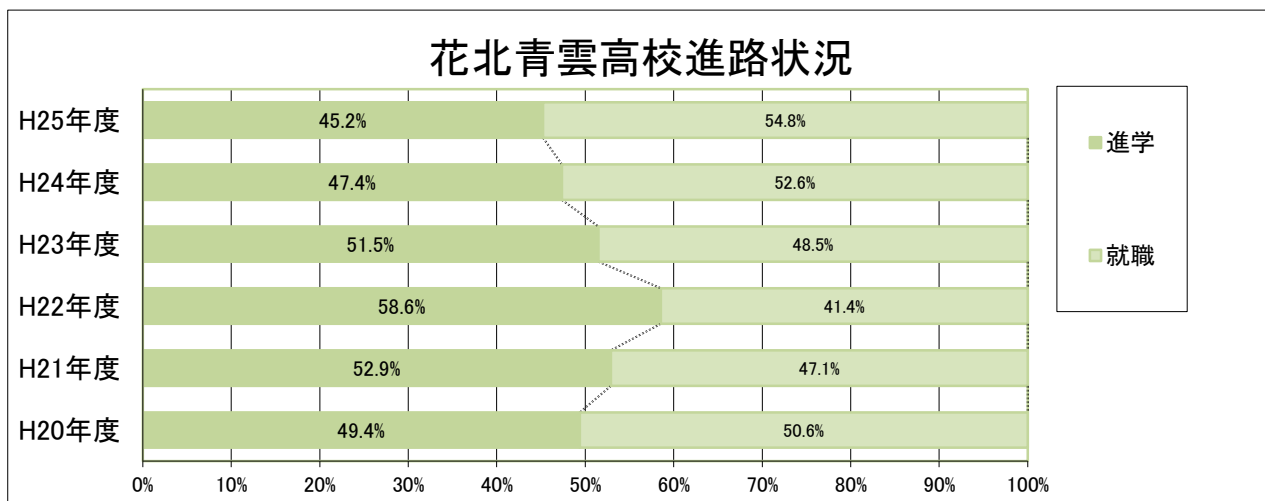
学校名	学科	項目	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	備考
大船渡東	農芸科学	定員	40	40	40	40	40	40	40	
		一般志願者数	47	44	37	40	40	23	28	
		志願倍率	1.18	1.1	0.93	1.08	1	0.59	0.72	
		入学者数	40	40	40	40	40	30	29	
		過不足	0	0	0	0	0	-10	-11	
	機械	定員	40	40	40	40	40	40	40	
		一般志願者数	35	31	30	36	36	33	33	
		志願倍率	0.92	0.86	0.77	1	0.97	0.85	0.83	
		入学者数	37	37	32	40	39	34	33	
		過不足	-3	-3	-8	0	-1	-6	-7	
	電気電子	定員	40	40	40	40	40	40	40	
		一般志願者数	36	33	28	32	27	17	31	
		志願倍率	0.92	0.92	0.74	0.89	0.68	0.44	0.78	
		入学者数	38	40	30	36	26	19	30	
		過不足	-2	0	-10	-4	-14	-21	-10	
	情報処理	定員	40	40	40	40	40	40	40	
		一般志願者数	37	42	35	35	41	31	22	
		志願倍率	1.03	1.14	0.95	0.92	1.03	0.79	0.58	
		入学者数	40	40	37	40	41	33	24	
		過不足	0	0	-3	0	1	-7	-16	
食物文化	定員	40	40	40	40	40	40	40		
	一般志願者数	38	39	41	35	30	45	33		
	志願倍率	1.03	1.05	1.14	0.97	0.83	1.18	0.89		
	入学者数	40	40	40	40	34	40	35		
	過不足	0	0	0	0	-6	0	-5		

大船渡東高校の志願倍率推移



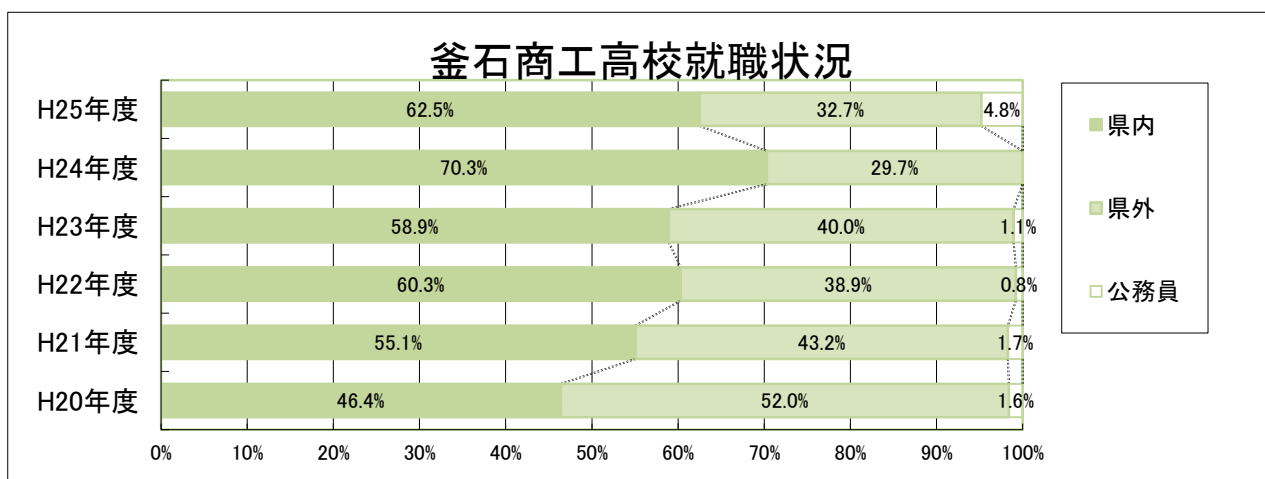
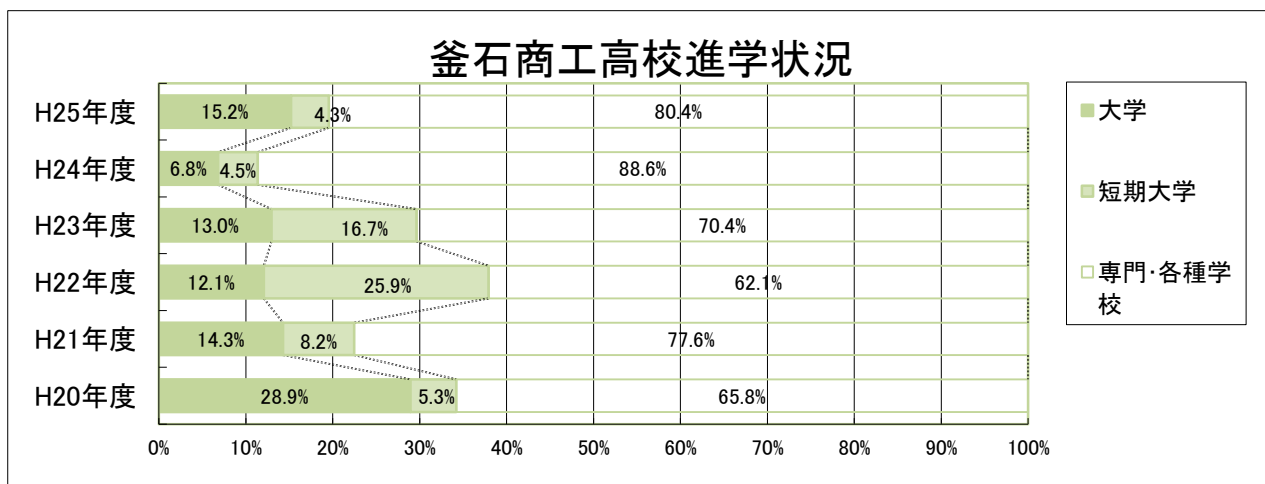
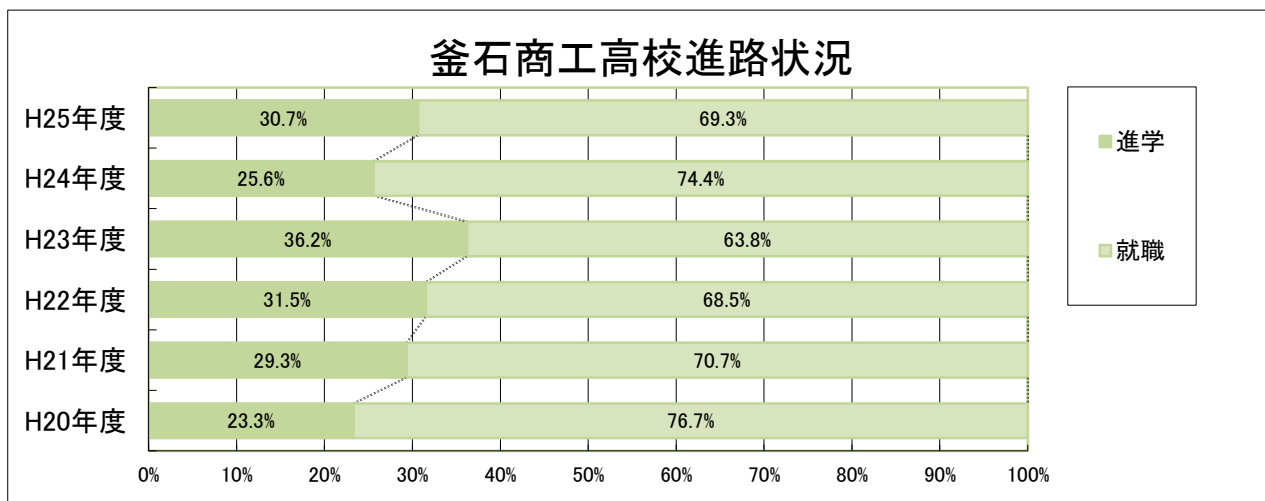
エ 総合的な専門高校の進路状況  
〔花北青雲高校〕

卒業年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
学科	情報工学・情報ビジネス・総合生活科					
卒業生数	160	155	152	167	152	157
進学	79	82	89	86	72	71
大学	22	21	34	28	17	18
短期大学	13	19	20	11	14	18
専門・各種学校	44	42	35	47	41	35
就職	81	73	63	81	80	86
県内	55	43	46	50	52	55
県外	22	20	13	23	16	19
公務員	4	10	4	8	12	12
その他	0	0	0	0	0	0



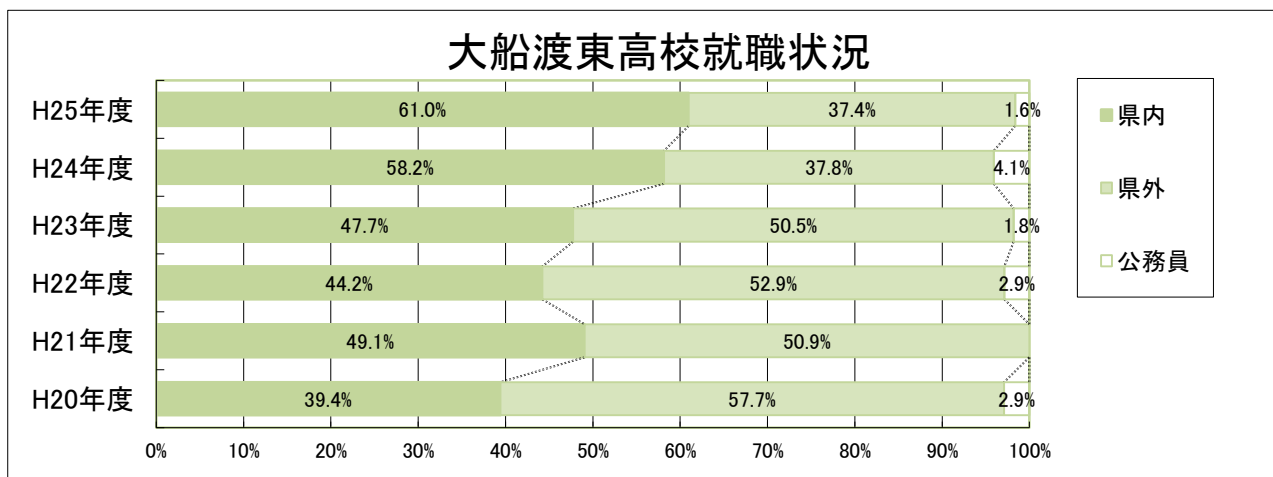
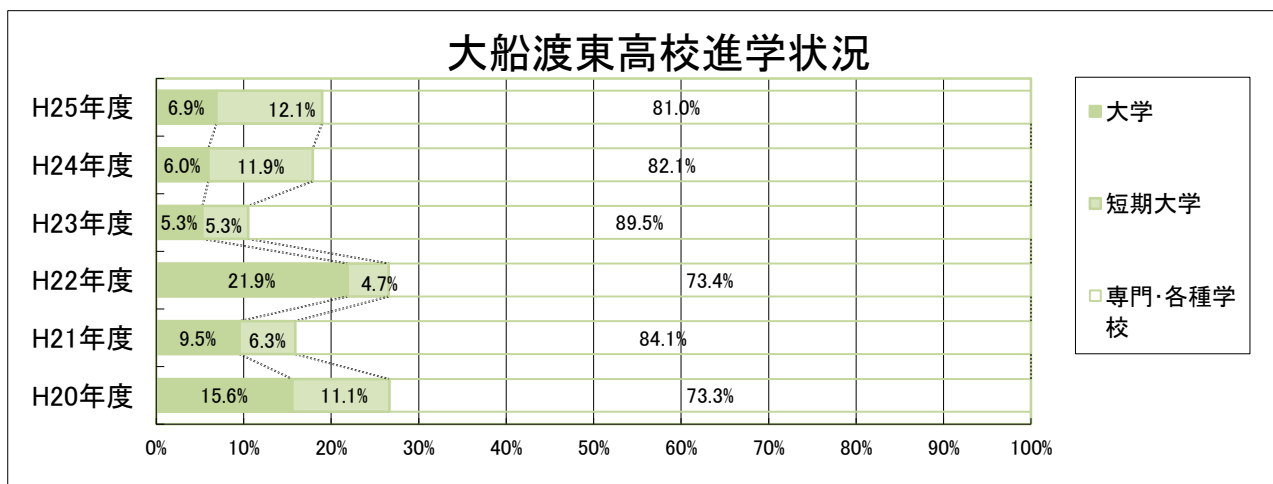
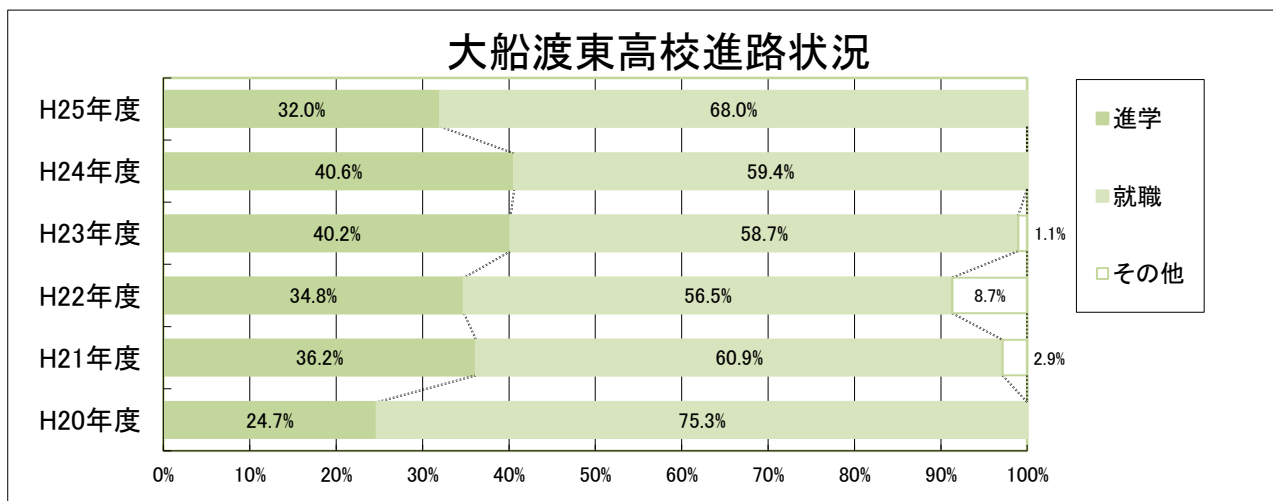
エ 総合的な専門高校の進路状況(つづき)  
〔釜石商工高校〕

卒業年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
学科	総合情報・機械、電子機械・電気電子科					
卒業生数	163	167	184	149	172	150
進学	38	49	58	54	44	46
大学	11	7	7	7	3	7
短期大学	2	4	15	9	2	2
専門・各種学校	25	38	36	38	39	37
就職	125	118	126	95	128	104
県内	58	65	76	56	90	65
県外	65	51	49	38	38	34
公務員	2	2	1	1	0	5
その他	0	0	0	0	0	0



エ 総合的な専門高校の進路状況(つづき)  
〔大船渡東高校〕

卒業年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
学科	総合情報・機械、電子機械・電気電子科					
卒業生数	182	174	184	189	165	181
進学	45	63	64	76	67	58
大学	7	6	14	4	4	4
短期大学	5	4	3	4	8	7
専門・各種学校	33	53	47	68	55	47
就職	137	106	104	111	98	123
県内	54	52	46	53	57	75
県外	79	54	55	56	37	46
公務員	4	0	3	2	4	2
その他	0	5	16	2	0	0



(4) 総合学科高校の現状

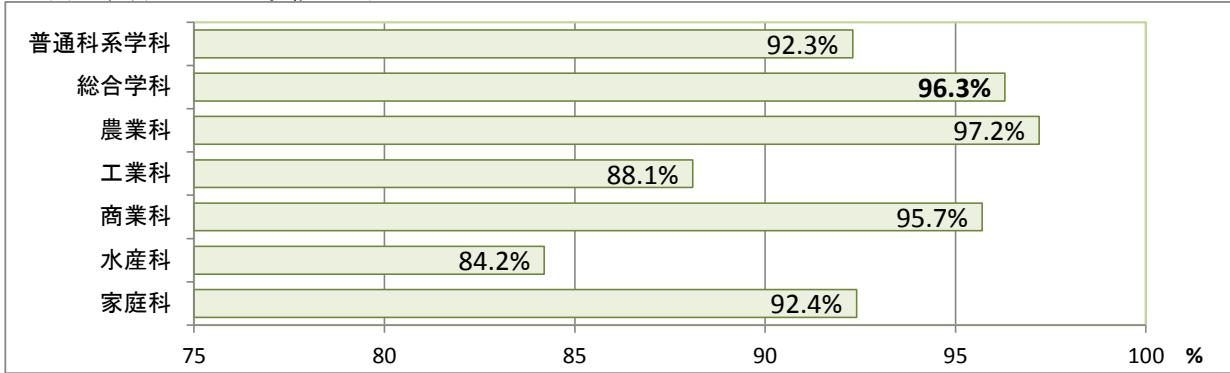
ア 総合学科高校の検証[紫波総合・北上翔南・一関第二・久慈東・一戸・(岩谷堂)]

	現 状	成 果	課 題
志 願 状 況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度により志願倍率の上下はあるが、平成 26 年度入試では 0.97 倍となっている。</li> <li>・1 倍以上の志願倍率を維持している学校もある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定員充足率は他の学科と比較し高い。(H26 年度入試 96.3%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合学科の特長について、十分理解いただく必要があることから、中学校の教員や生徒、保護者に対し、体験入学や学校説明会等を通じ、今後とも理解を深めさせていく必要がある。</li> </ul>
総合学科のシステム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての学校で系列重視型の科目選択に移行している。</li> <li>・系列は、生徒の希望調査や保護者面談等を通して 1 年次の 10～11 月頃にはほぼ決定している。</li> <li>・「産業社会と人間」を活用し、社会人講話、上級学校見学、企業見学等を実施している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・系列重視になってきたことから、進路と関係しない安易な科目選択になっている生徒はごくわずかである。</li> <li>・必修科目である「産業社会と人間」を通して、自分の将来について真剣に考え、目標とする進路に応じた系列を選択することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進学に重点を置いた学校、専門教育に重点を置いた学校、学校の規模等で課題が異なることから、それぞれの学校の課題に沿った対応を検討していく必要がある。</li> <li>・小規模の総合学科高校では教員配置数等の関係から開設する科目に限られ、生徒が希望する科目選択ができない場合がある。</li> </ul>
学 習 指 導 面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1 年次の「産業社会と人間」で生き方、在り方、職業について理解を深め、2・3 年次の「総合的な学習の時間」に結び付け、キャリア教育という視点を一貫させた指導を実践している。</li> <li>・同じ規模の普通高校に比較して、教員 1 人あたりの科目数が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての学校において「課題研究発表会」を実施することで、他系列の学習内容を知ることができ、キャリア教育に充実に繋がっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「産業社会と人間」等、専門教科以外の指導や教員 1 人当たりの担当科目数が多いことで、負担を感じている教員が多い。</li> <li>・2 年次からの系列選択となることから、進路指導や専門教科指導が普通科、専門学科に比べ深まらない、資格取得に限られていると感じている教員もいる。</li> </ul>
生 徒 指 導 面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒指導の問題は減少傾向にある。中途退学者や長期欠席者も減少傾向となっている。</li> <li>・多くの生徒と関わりを持つことが苦手な生徒や、人間関係で悩む生徒にとっては、HR (生活集団) と学習集団が異なることが、プラスに働く面もある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動は活性化している。</li> <li>・2 年次以降系列毎にクラス編制をしている学校では、以前より HR 単位での活動が多くなり、学校行事等において、まとまりが見られるようになっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校によっては、学級担任が授業において学級の全てを担当する場面が少ないことから、情報交換のための教員の連携が必要である。</li> <li>・学校によっては、特別な支援を必要とする生徒がいる。</li> </ul>
進 路 指 導 面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「産業社会と人間」や「総合的な学習の時間」等を活用して、自分の進路について考える時間が多く設定されている。</li> <li>・就職希望者についてはインターシップを実施している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・系列重視になったことや「産業社会と人間」及び「総合的な学習の時間」におけるキャリア教育の成果により、系列の学習内容に関連した進路選択となっている生徒が多くなっている。</li> <li>・進路未決定者の割合が減少傾向となっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な進路希望の生徒に対応するため、担任の負担が大きい。</li> <li>・介護福祉系列以外は学習内容と進路先が必ずしも一致していない学校もある。</li> </ul>
学 校 評 価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒及び保護者の学校評価においては、「学校生活に満足している」「本校に入学して良かった」という肯定的な回答が 85% となっており、概ね良い評価を得ている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・服装・挨拶が改善され、部活動の活性化、問題行動の減少等で評価が上がっている。</li> <li>・系列化が明確になり学校の方向性が見えてきたことから、進学・就職両面で成果が上がっており、それぞれの分野で特長ある指導がなされているといった評価がある。</li> <li>・系列化によるキャリア教育の充実、定員充足率、学校評価等から生徒、保護者には一定の評価を得られている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設設備等の関係から、必ずしも生徒の希望する系列や選択とならない場合があり、中学生や保護者に周知する必要がある。</li> </ul>

イ 学科ごとの定員充足率、総合学科の系列及び選択者数、系列選択者の比率、教員1人当たりの科目数

(7) 学科ごとの定員充足率

※ 平成21～26年度の平均

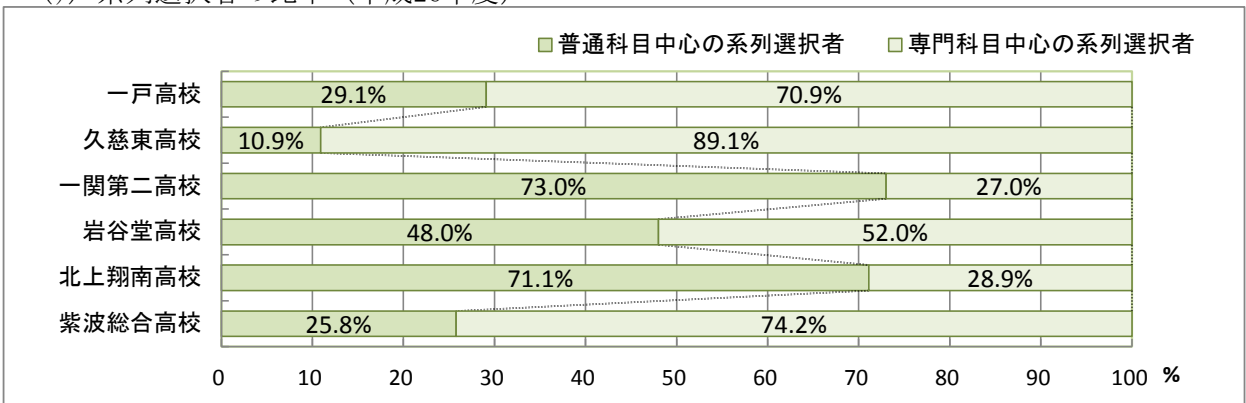


※ 普通科系学科：普通科、理数科、体育科

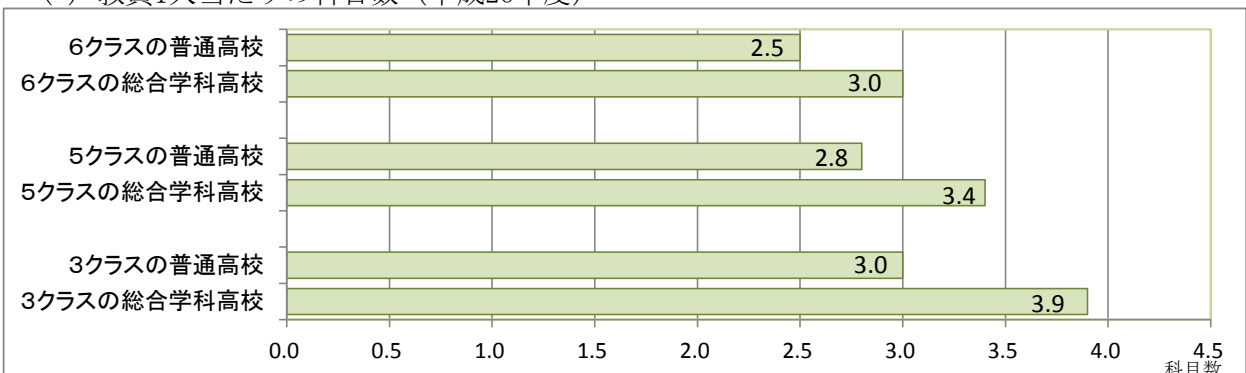
(イ) 総合学科高校の系列及び選択者数 (平成26年度)

学校	系列	選択者数	
		2年	3年
紫波総合高校 (定員 200)	人文・自然	37	55
	福祉・健康	26	20
	情報・経済	40	41
	ライフデザイン	31	33
	エコロジー・フード	37	36
	計	171	185
北上翔南高校 (定員 240)	人文	121	113
	自然	43	57
	情報	36	39
	環境	31	30
	計	231	239
岩谷堂高校 (定員 200)	生活・福祉	21	18
	生物生産	17	20
	産業工学	13	14
	流通情報	25	30
	人文科学	34	52
	自然科学	28	32
計	138	166	
一関第二高校 (定員 240)	人文	95	70
	自然	83	101
	福祉	11	10
	環境・ビジネス	47	61
	計	236	242
	久慈東高校 (定員 200)	人文	8
自然科学		10	16
食物		24	23
介護福祉		31	24
環境緑化		26	16
海洋科学		12	14
情報ビジネス	87	95	
計	198	197	
一戸高校 (定員 120)	人文・自然	33	31
	情報ビジネス	29	34
	生活文化	32	35
	介護福祉	11	15
計	105	115	

(ウ) 系列選択者の比率 (平成26年度)



(エ) 教員1人当たりの科目数 (平成26年度)

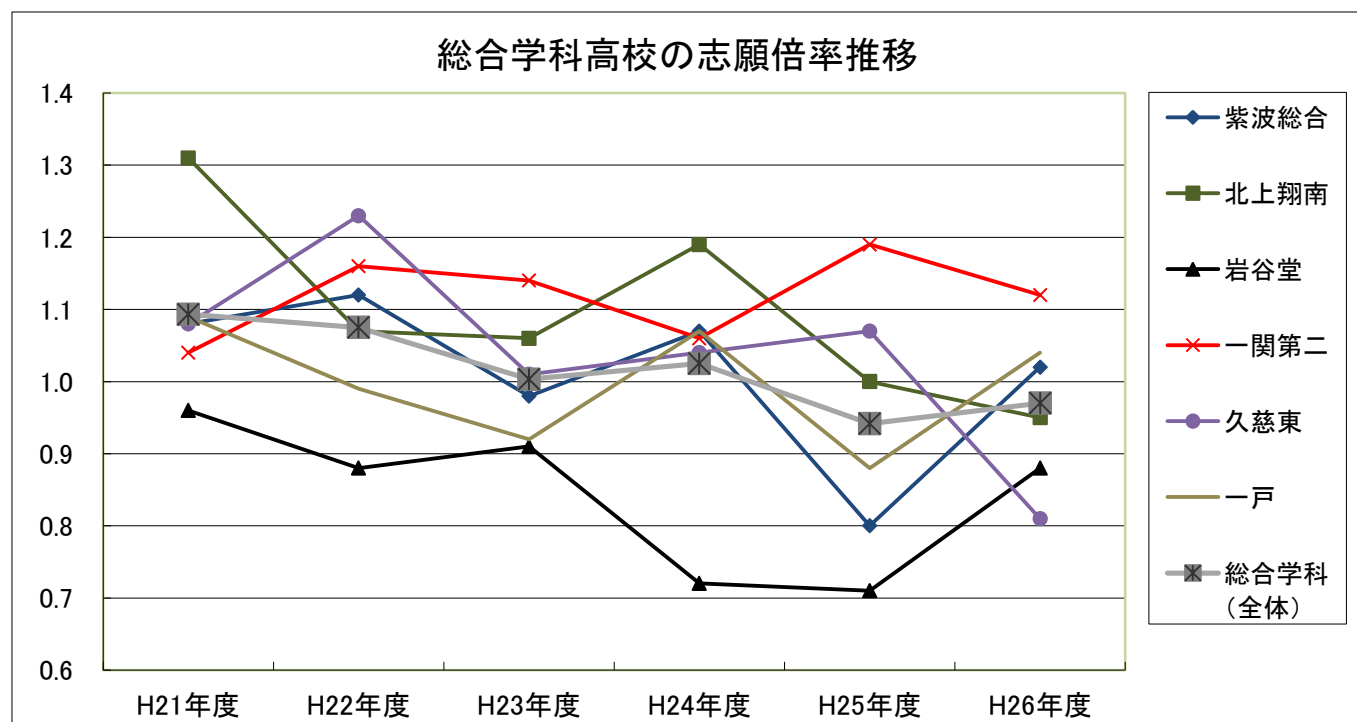


## ウ 総合学科高校の志願者数及び入学者数の推移

※志願倍率＝一般志願者数/(定員－推薦合格者数)

学校名	項目	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	備考
紫波総合	定員	200	200	200	200	200	200	～H15：紫波高校（普通科・農業科・情報デザイン科） H16～：紫波総合（総合学科）
	一般志願者数	204	218	192	206	156	195	
	志願倍率	1.08	1.12	0.98	1.07	0.8	1.02	
	入学者数	200	200	193	200	179	200	
	過不足	0	0	-7	0	-21	0	
北上翔南	定員	240	240	240	240	240	240	～H15：黒沢尻南（普通科） H16～：北上翔南（総合学科）
	一般志願者数	284	230	228	259	216	213	
	志願倍率	1.31	1.07	1.06	1.19	1.00	0.95	
	入学者数	240	246	241	242	233	229	
	過不足	0	6	1	2	-7	-11	
岩谷堂	定員	240	240	240	240	200	200	H6～：総合学科
	一般志願者数	219	202	206	162	140	173	
	志願倍率	0.96	0.88	0.91	0.72	0.71	0.88	
	入学者数	225	214	215	174	144	183	
	過不足	-15	-26	-25	-66	-56	-17	
一関第二	定員	240	240	240	240	240	240	～H15：一関第二（普通科・福祉教養科）、一関農業（生物資源科・生活科学科） H16～：一関第二（総合学科）
	一般志願者数	225	251	246	228	257	240	
	志願倍率	1.04	1.16	1.14	1.06	1.19	1.12	
	入学者数	240	240	239	243	243	240	
	過不足	0	0	-1	3	3	0	
久慈東	定員	200	200	200	200	200	200	～H15：久慈農林（農林工学科・家政科・福祉教養科）、久慈商業（商業科・情報処理科）、久慈水産（水産技術科・食物科） H16～：久慈東（総合学科）
	一般志願者数	195	220	182	191	193	146	
	志願倍率	1.08	1.23	1.01	1.04	1.07	0.81	
	入学者数	210	210	201	201	200	163	
	過不足	10	10	1	1	0	-37	
一戸	定員	120	120	120	120	120	120	～H16：一戸高校（普通科・福祉科） H17～：一戸高校（総合学科）
	一般志願者数	124	107	102	121	99	121	
	志願倍率	1.09	0.99	0.92	1.07	0.88	1.04	
	入学者数	122	117	110	120	106	124	
	過不足	2	-3	-10	0	-14	4	
総合学科(全体)	定員	1,240	1,240	1,240	1,240	1,200	1,200	
	一般志願者数	1,251	1,228	1,156	1,167	1,061	1,088	
	志願倍率	1.09	1.08	1.00	1.03	0.94	0.97	
	入学者数	1,237	1,227	1,199	1,180	1,105	1,139	
	過不足	-3	-13	-41	-60	-95	-61	

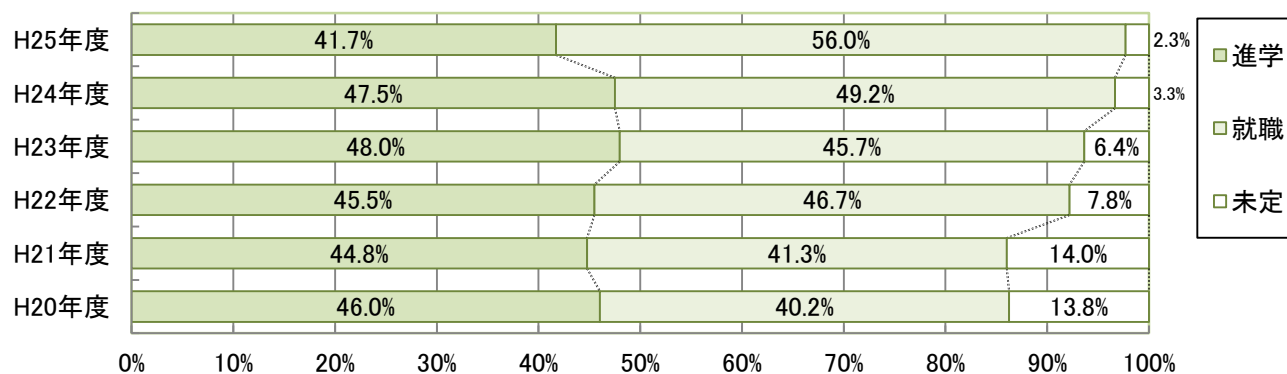
### 総合学科高校の志願倍率推移



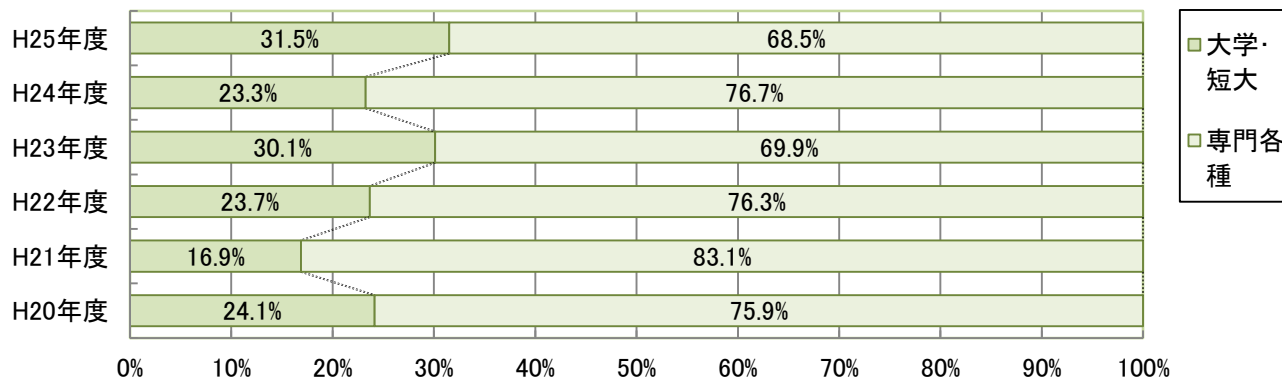
エ 総合学科高校の進路状況  
〔紫波総合高校〕

卒業年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
学科	総合学科					
卒業生数	189	172	167	173	181	175
進学	87	77	76	83	86	73
	大学・短大	21	13	18	25	23
	専門各種	66	64	58	58	66
就職	76	71	78	79	89	98
	県内	49	47	43	49	61
	県外	27	24	35	30	30
未定	26	24	13	11	6	4

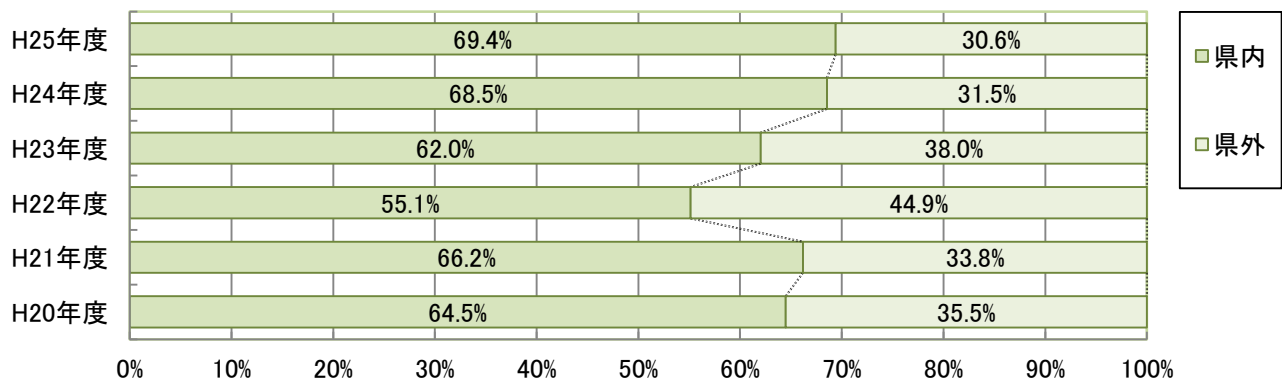
進路状況



進学内訳



就職内訳

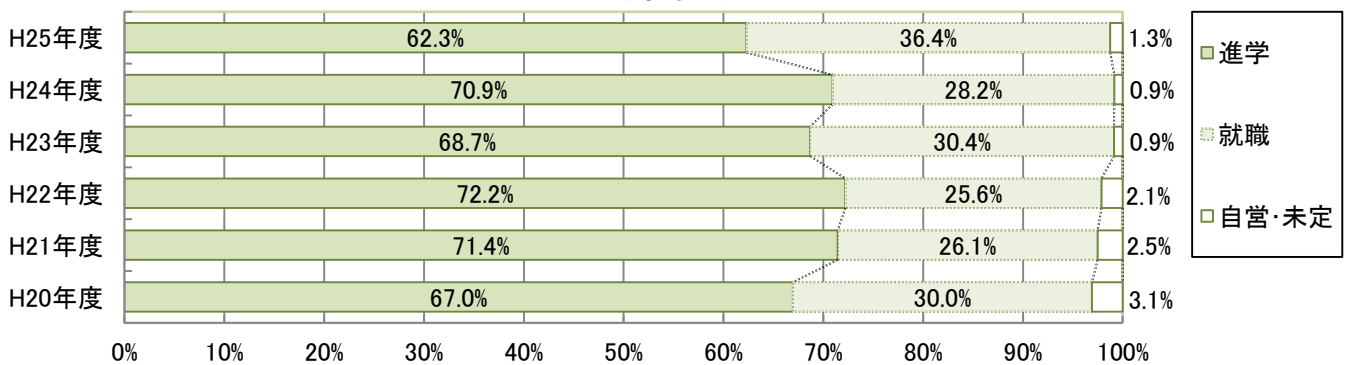




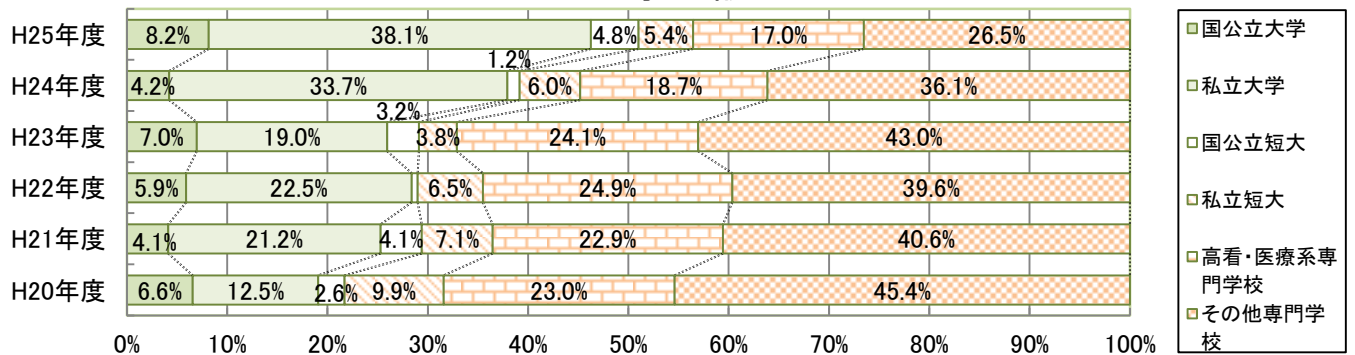
エ 総合学科高校の進路状況(つづき)  
〔北上翔南高校〕

卒業年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
学科	総合学科					
卒業生数	227	238	234	230	234	236
進学	152	170	169	158	166	147
国公立大学	10	7	10	11	7	12
私立大学	19	36	38	30	56	56
国公立短大	4	7	1	5	2	7
私立短大	15	12	11	6	10	8
高専・医療系専門学校	35	39	42	38	31	25
その他専門学校	69	69	67	68	60	39
就職	68	62	60	70	66	86
県内	52	35	43	53	47	63
県外	16	27	17	17	19	23
自営・未定	7	6	5	2	2	3

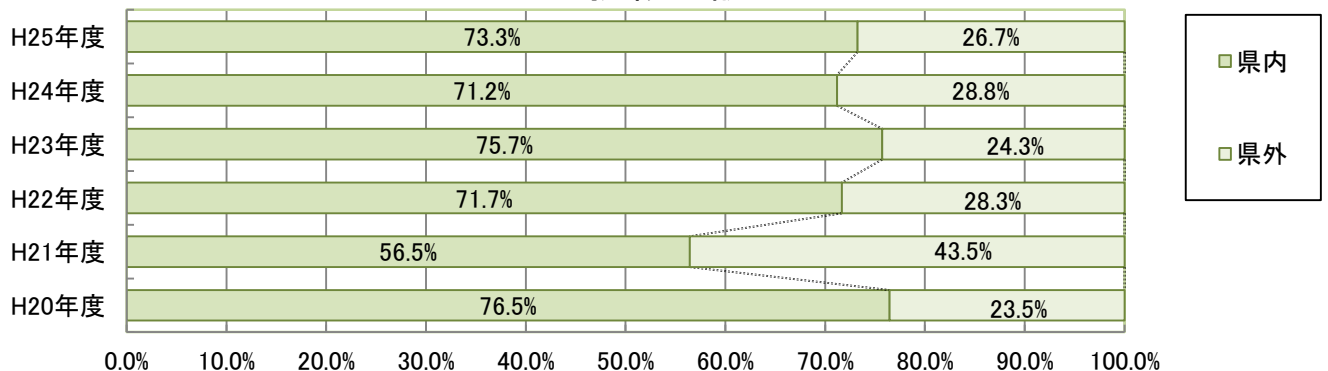
進路状況



進学内訳

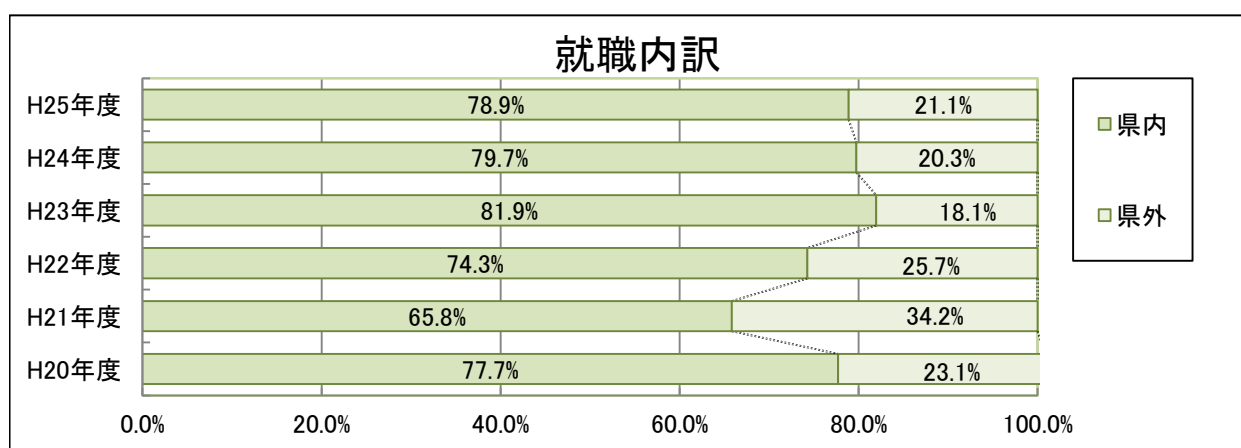
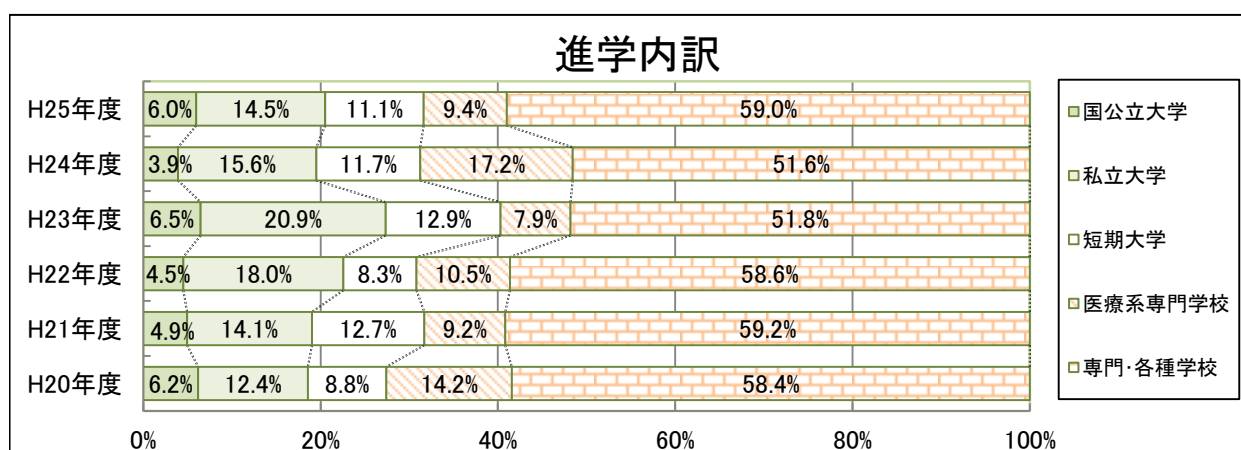
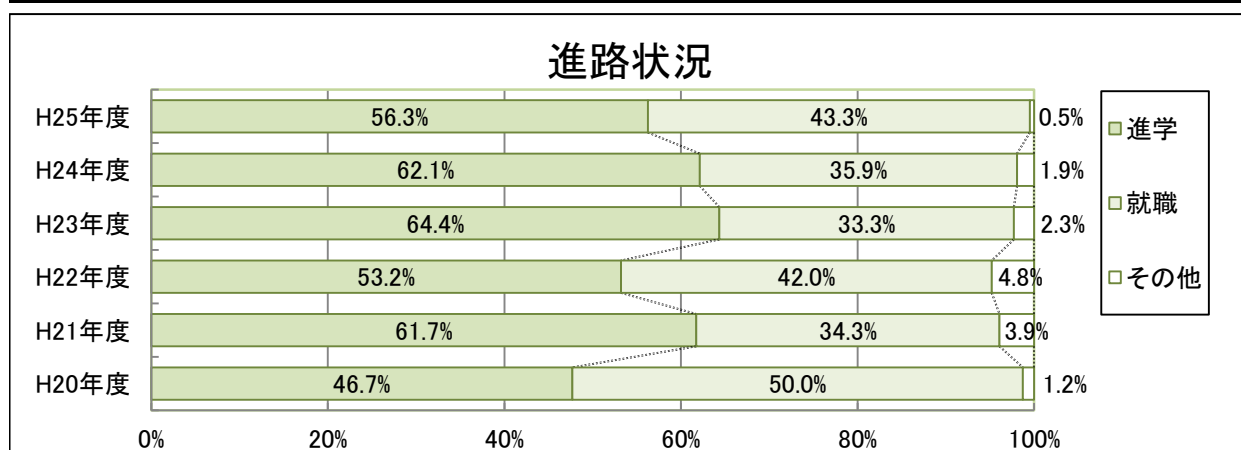


就職内訳



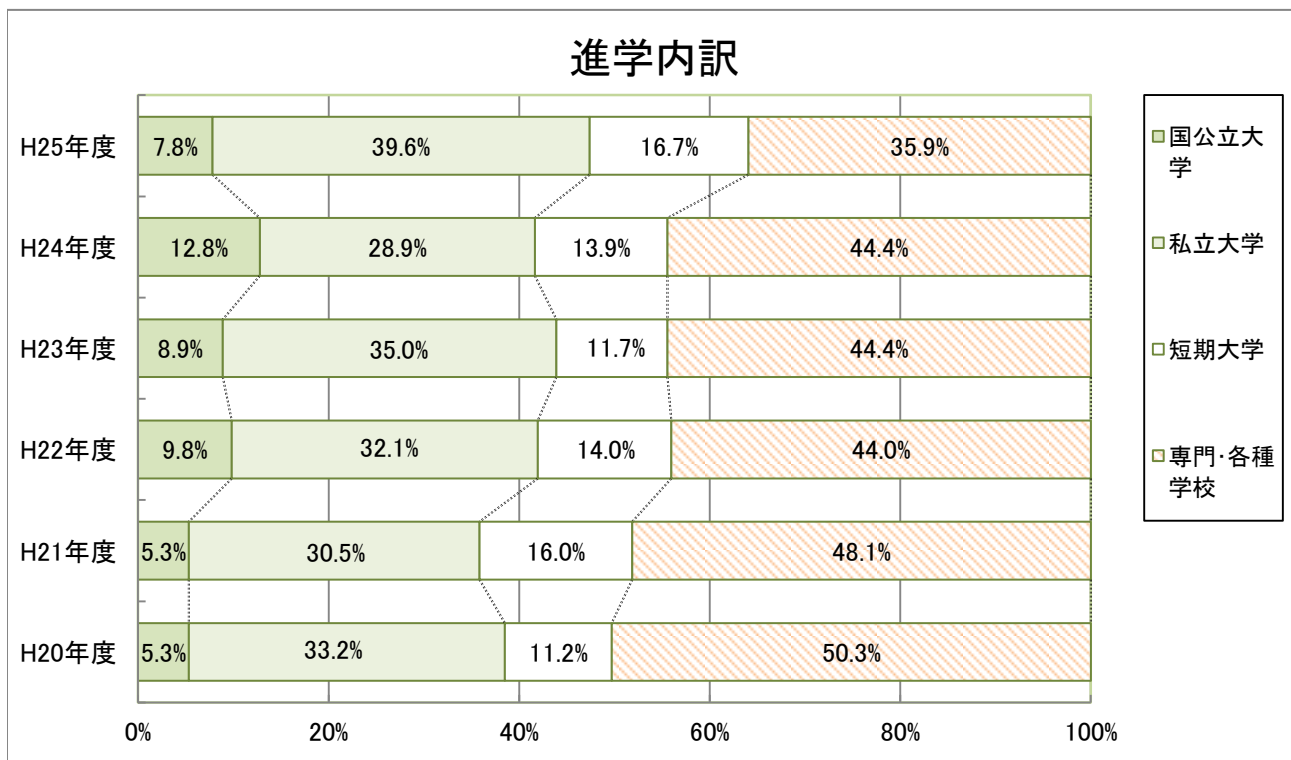
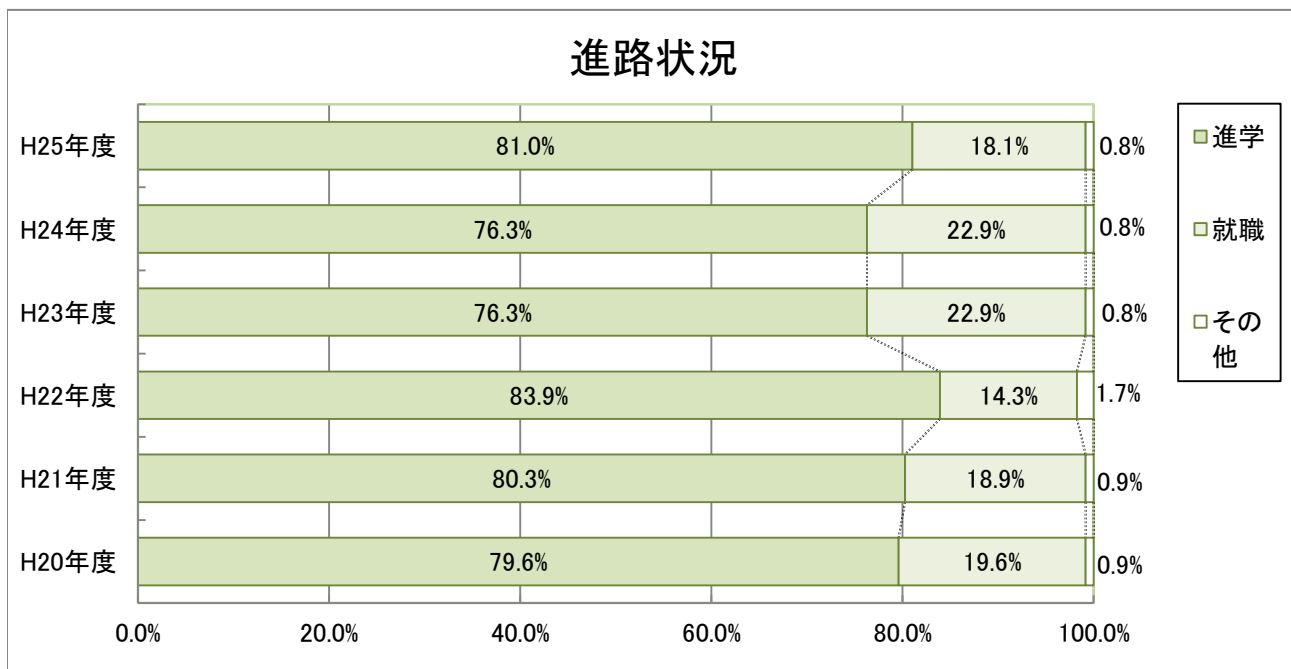
エ 総合学科高校の進路状況(つづき)  
〔岩谷堂高校〕

卒業年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
学科	総合学科					
卒業生数	242	230	250	216	206	208
進学	113	142	133	139	128	117
国公立大学	7	7	6	9	5	7
私立大学	14	20	24	29	20	17
短期大学	10	18	11	18	15	13
医療系専門学校	16	13	14	11	22	11
専門・各種学校	66	84	78	72	66	69
就職	121	79	105	72	74	90
県内	94	52	78	59	59	71
県外	28	27	27	13	15	19
その他	3	9	12	5	4	1



エ 総合学科高校の進路状況(つづき)  
 [一関第二高校]

卒業年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
学科	総合学科					
卒業生数	235	233	230	236	236	237
進学	187	187	193	180	180	192
国公立大学	10	10	19	16	23	15
私立大学	62	57	62	63	52	76
短期大学	21	30	27	21	25	32
専門・各種学校	94	90	85	80	80	69
就職	46	44	33	54	54	43
その他	2	2	4	2	2	2

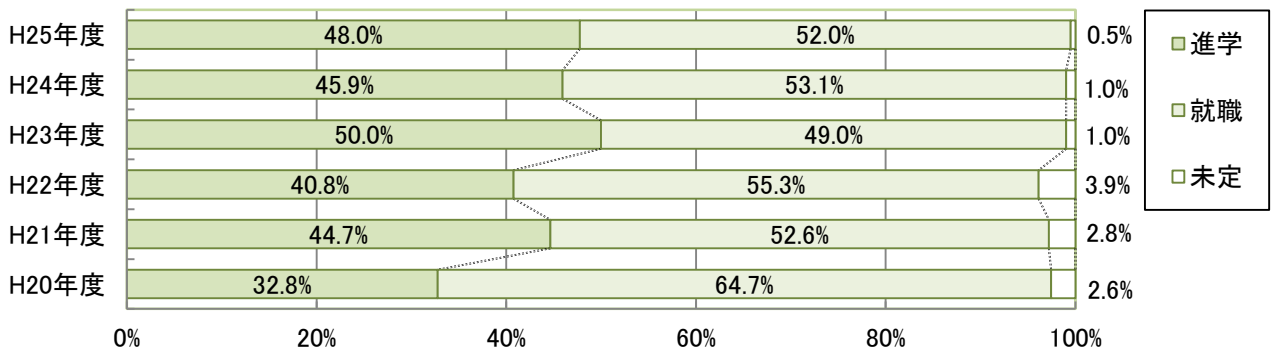


エ 総合学科高校の進路状況(つづき)

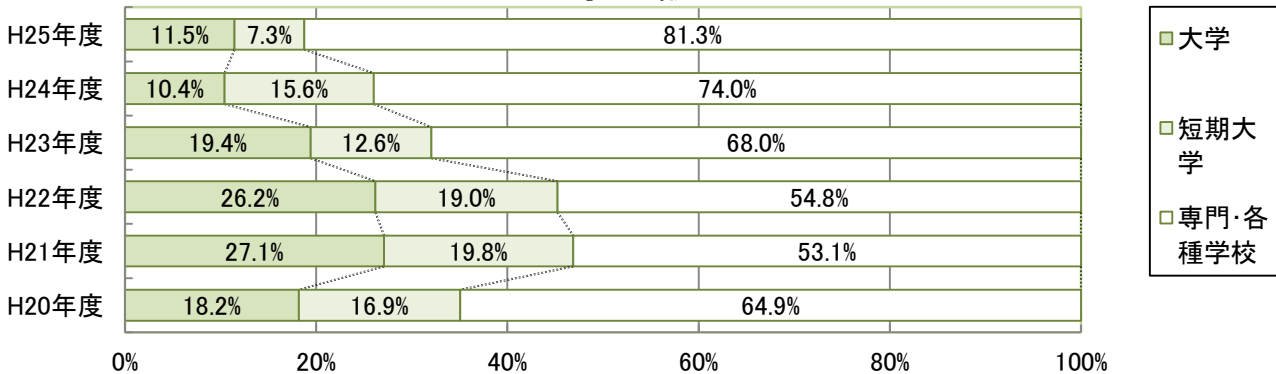
[久慈東高校]

卒業年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
学科	総合学科					
卒業生数	235	215	206	206	209	200
進学	77	96	84	103	96	96
大学	14	26	22	20	10	11
短期大学	13	19	16	13	15	7
専門・各種学校	50	51	46	70	71	78
就職	152	113	114	101	111	104
県内	49	42	46	44	49	45
県外	101	65	66	53	56	58
公務員	2	6	2	4	6	1
未定	6	6	8	2	2	1

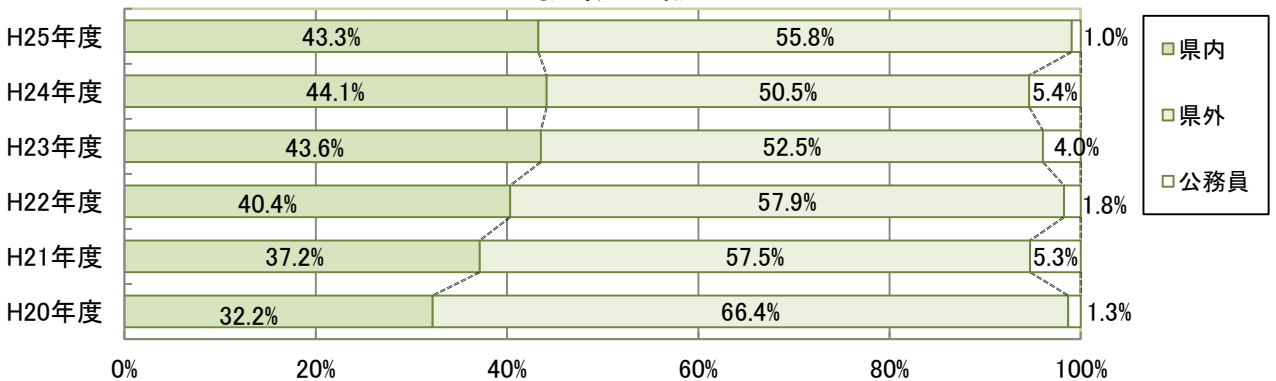
進路状況



進学内訳



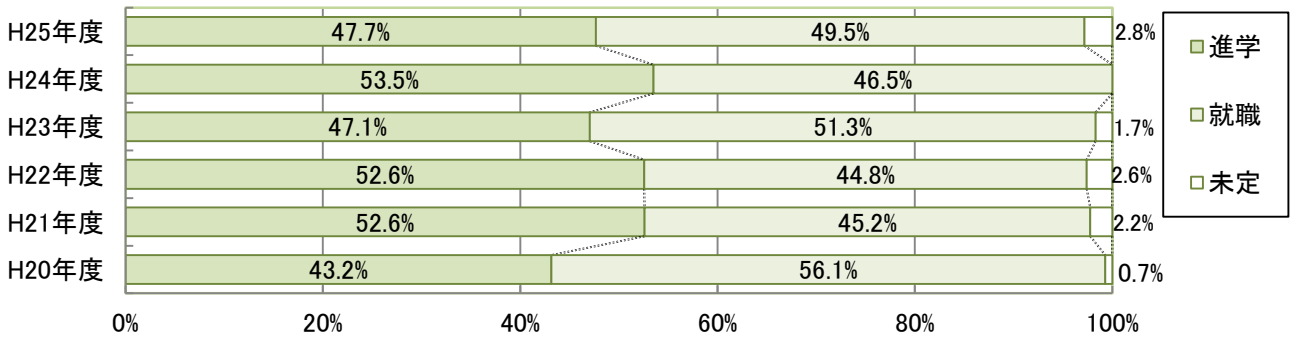
就職内訳



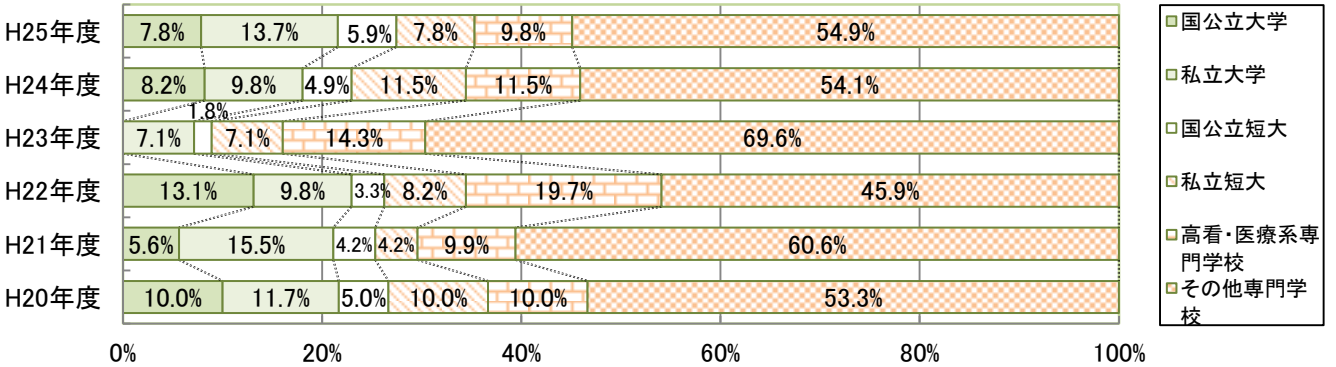
エ 総合学科高校の進路状況(つづき)  
〔一戸高校〕

卒業年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
学科	総合学科					
卒業生数	139	135	116	119	114	107
進学	60	71	61	56	61	51
国公立大学	6	4	8	0	5	4
私立大学	7	11	6	4	6	7
国公立短大	3	3	2	1	3	3
私立短大	6	3	5	4	7	4
高専・医療系専門学校	6	7	12	8	7	5
その他専門学校	32	43	28	39	33	28
就職	78	61	52	61	53	53
県内	39	27	33	39	40	41
県外	39	34	19	22	13	12
未定	1	3	3	2	0	3

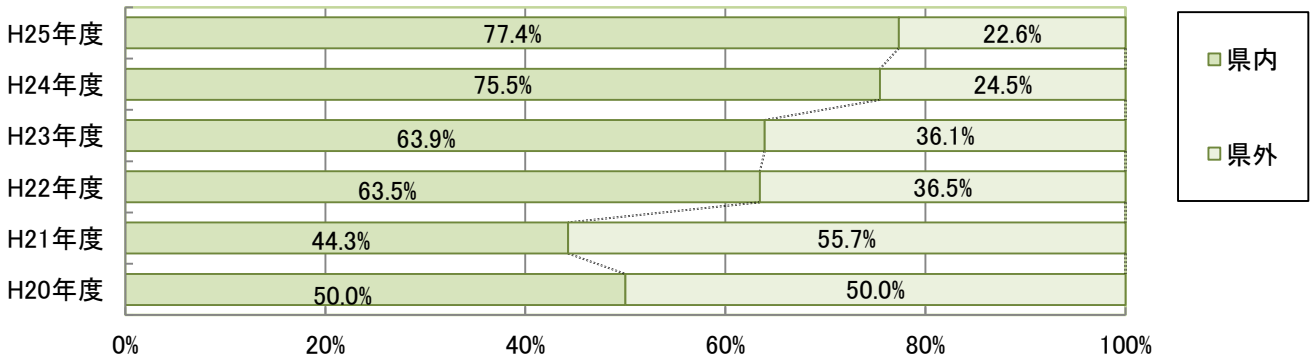
進路状況



進学内訳



就職内訳



## (5) 中高一貫教育校の現状

[中高一貫教育の主な目的]

- 高校入試の影響を受けず、生徒がゆとりある安定的な学校生活を送ることを可能にする。
- 6年間の計画的・継続的な指導により、基礎基本に係る学力の定着や個性の伸長を図る。
- 生徒や保護者の選択の幅を拡大して、中等教育のより一層の多様化を推進する。

### ア 連携型中高一貫教育校の現状

現在、本県では次の連携型中高一貫教育が実施されている。

連携高校名	軽米高校	葛巻高校
連携中学校名	軽米、笹渡 <sup>※2</sup> 、小軽米 <sup>※2</sup> 、小玉川 <sup>※1</sup> 晴山 <sup>※2</sup> 中学校(※1 H14年小軽米中学校に統合 ※2 H26年輕米中学校に統合)	葛巻、小屋瀬、江刈中学校
導入年度	平成13年度	平成14年度
入試方法	基礎学力の確認(一般入学者選抜学力検査と同じ)・面接	基礎学力の確認(一般入学者選抜学力検査と同じ)・面接
地元進学率 連携中学校卒業者のうち連携高校進学者数	H13 68.5% (100名/146名)	H14 74.8% (83名/111名)
	H20 74.6% (97名/130名)	H20 73.3% (55名/75名)
	H21 81.1% (99名/122名)	H21 59.7% (46名/77名)
	H22 63.0% (75名/119名)	H22 62.7% (42名/67名)
	H23 68.2% (75名/110名)	H23 76.9% (50名/65名)
	H24 57.9% (55名/95名)	H24 63.3% (31名/49名)
	H25 65.2% (58名/89名)	H25 72.2% (39名/54名)
充足率	H26 69.6% (64名/92名)	H26 58.0% (29名/50名)
	定員 入学者 充足率	定員 入学者 充足率
	H20 120 102 85.0	H20 80 57 71.3
	H21 120 103 85.8	H21 80 56 70.0
	H22 120 80 66.7	H22 80 50 62.5
	H23 120 81 67.5	H23 80 58 72.5
	H24 120 62 51.7	H24 80 40 50.0
H25 80 59 73.8	H25 80 48 60.0	
H26 80 65 81.3	H26 80 38 47.5	

《連携型中高一貫教育校の大学等への進学状況》

	軽米高校					
	H13年度	H18年度	H19年度	H21年度	H23年度	H25年度
卒業生数	143	111	105	104	99	76
大学・短大	33(23.1)	27(24.3)	26(24.8)	27(30.0)	24(24.2)	23(30.3)
専門(公立・他)	43(30.1)	33(29.7)	37(35.2)	34(32.7)	37(37.4)	17(22.4)
進学計	76(53.1)	60(54.1)	63(60.0)	61(58.7)	61(61.6)	40(52.6)

H18～H19：軽米高校は連携型入試で入学した生徒のみのデータ

	葛巻高校					
	H14年度	H18年度	H19年度	H21年度	H23年度	H25年度
卒業生数	87	66	40	56	54	53
大学・短大	19(21.8)	17(25.6)	12(30.0)	22(39.3)	14(25.9)	19(35.8)
専門(公立・他)	41(47.1)	27(40.9)	13(32.5)	20(35.7)	16(29.6)	8(15.1)
進学計	60(69.0)	44(66.7)	25(62.5)	42(75.0)	30(55.6)	27(50.9)

## イ 連携型中高一貫教育校の実践概要

### (7) 実践の目的

- a 6年間を通じた生徒の目的意識を高めるための指導方法の構築
- b 特色ある教育課程の編成の在り方の検討
- c 中高一貫教育校における学校運営の改善充実

### (i) 実践の成果

- a 6年間を通じた生徒の目的意識を高めるための指導方法の構築
  - (a) 授業交流（中高教員によるTTの授業）の継続的实施により、中高教員の指導力が向上し、生徒の基礎的・基本的内容の定着が図られた。また、生徒にとっては、段差の低い中高のスムーズな接続が可能になった。
  - (b) 中学校において、中高6年間及び高校卒業後の進路を見通した進路指導が行われるようになり、生徒が高校生活や高校卒業後の進路について目標をもって入学するようになった。
  - (c) 進学実績の向上に伴い、大学・短大への進学者のうち、四年制大学への入学者が約7割となっている。
  - (d) 中高の教員の情報交換、連携した対応等により、生活指導の充実が一層図られ、学校不適應の問題をはじめ、生徒指導上の問題は極めて少ない。
- b 特色ある教育課程の編成の在り方の検討
  - (a) 中高6年間を通して、地域と関わりのある学習活動を、生徒の学習レベルに応じて、計画的・継続的に取り組んでいる。
- c 中高一貫教育校における学校運営の改善充実
  - (a) 学校、地域、PTA、教育委員会の代表者による協議会や、中高全教員参加による部会等を開催することにより、学校運営においても、それぞれの意向を踏まえた連携を図ることが可能となった。
  - (b) 定期的な広報誌を町内全戸に配付することで、住民への周知・理解を図り、そのことにより、保護者、地域住民の協力を得ながら中高一貫教育の取組みを進めることができた。さらには、学校運営の活性化につながっている。

### (7) 課題

- a 6年間を通じて生徒の目的意識を高めるための指導方法の構築
  - (a) 配置教員数の制約等により、数学、英語以外の連携が難しい。
- b 特色ある教育課程の編成の在り方の検討
  - (a) 連携する学校が複数のため、打ち合わせ、準備等に要する時間の確保が難しい（軽米町では、平成26年度中学校の統合により、1中学校と1高校の連携となった）。
  - (b) 町立中学校と県立高校という設置者の違いから、中高の柔軟なカリキュラム編成や、特色ある教育課程の編成に制約がある。
- c 中高一貫教育校における学校運営の改善充実
  - (a) 授業交流、各種活動に伴う事前の打ち合わせ、準備の時間の確保が難しい。
  - (b) 取組みの改善に結びつけるため、中高の教員はもとより、保護者、地域住民等各層から協力を得ていくための啓発活動の在り方を検討する必要がある。

### (e) その他

中高一貫教育の狙いが、教育活動を高めていくという学習、地域貢献の視点から、少子化の進行により、高校における生徒確保という側面も出てきていることから、中高の学校間の連携のみならず、市町村及び県との連携が不可欠となっている。

## ウ 併設型中高一貫教育校の現状、志願者数及び入学者数の推移

### (ア) 併設型中高一貫教育校の現状

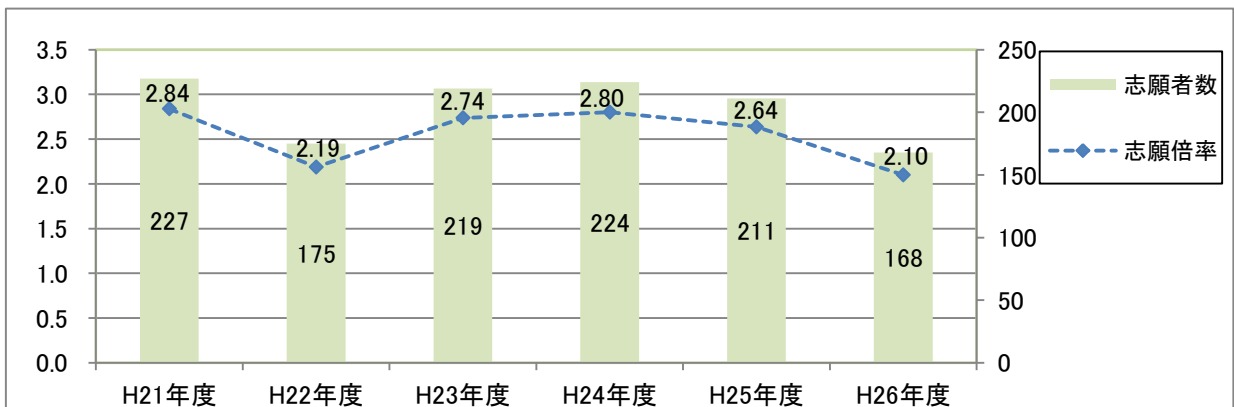
#### [設置]

- 1 導入校：一関第一高等学校
- 2 併設中学校：一関第一高等学校附属中学校
- 3 開校：平成21年4月
- 4 設置理念：中高一貫教育のもと、特色ある教育活動を展開し、豊かな人間性と高い知性を合わせ持ち、社会の進歩と発展に貢献する次世代のリーダーを育成する。
- 5 定員：一関第一高等学校附属中学校 80名（男子40名、女子40名）  
一関第一高等学校 240名

### (イ) 志願者数と入学者数の推移

#### [一関第一高校附属中学校]

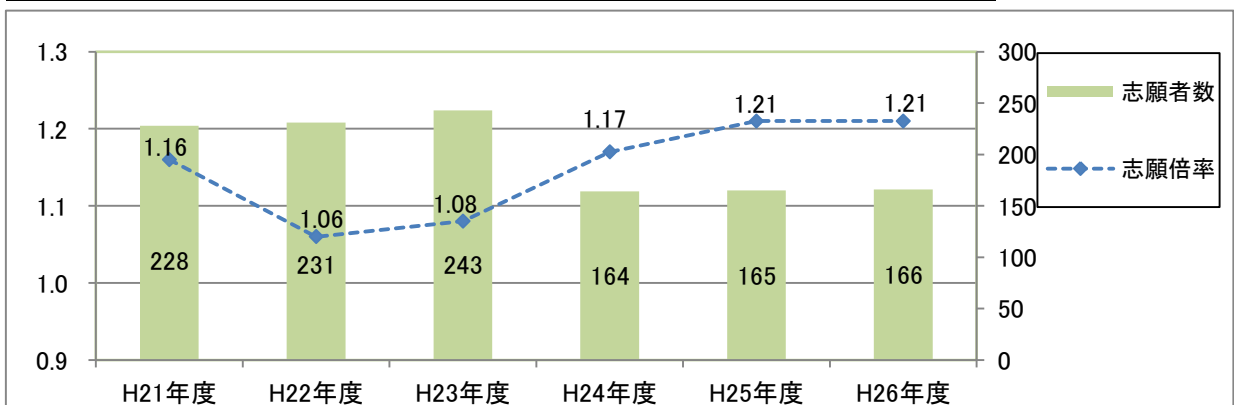
		H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
定員		80	80	80	80	80	80
志願者数	男子	112	97	131	108	103	77
	女子	115	78	88	116	108	91
	計	227	175	219	224	211	168
志願倍率		2.84	2.19	2.74	2.80	2.64	2.10
入学者数	男子	39	40	40	40	40	40
	女子	39	40	40	40	40	40
	計	78	80	80	80	80	80



#### [一関第一高校]

※志願倍率＝一般志願者数/(定員－推薦合格者数)

	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
定員	240	240	240	240	240	240
一般志願者数	228	231	243	164	165	166
志願倍率	1.16	1.06	1.08	1.17	1.21	1.21
附属中学校から	-	-	-	78	80	80
入学者数	235	240	239	240	242	241
過不足	-5	0	-1	0	+2	+1



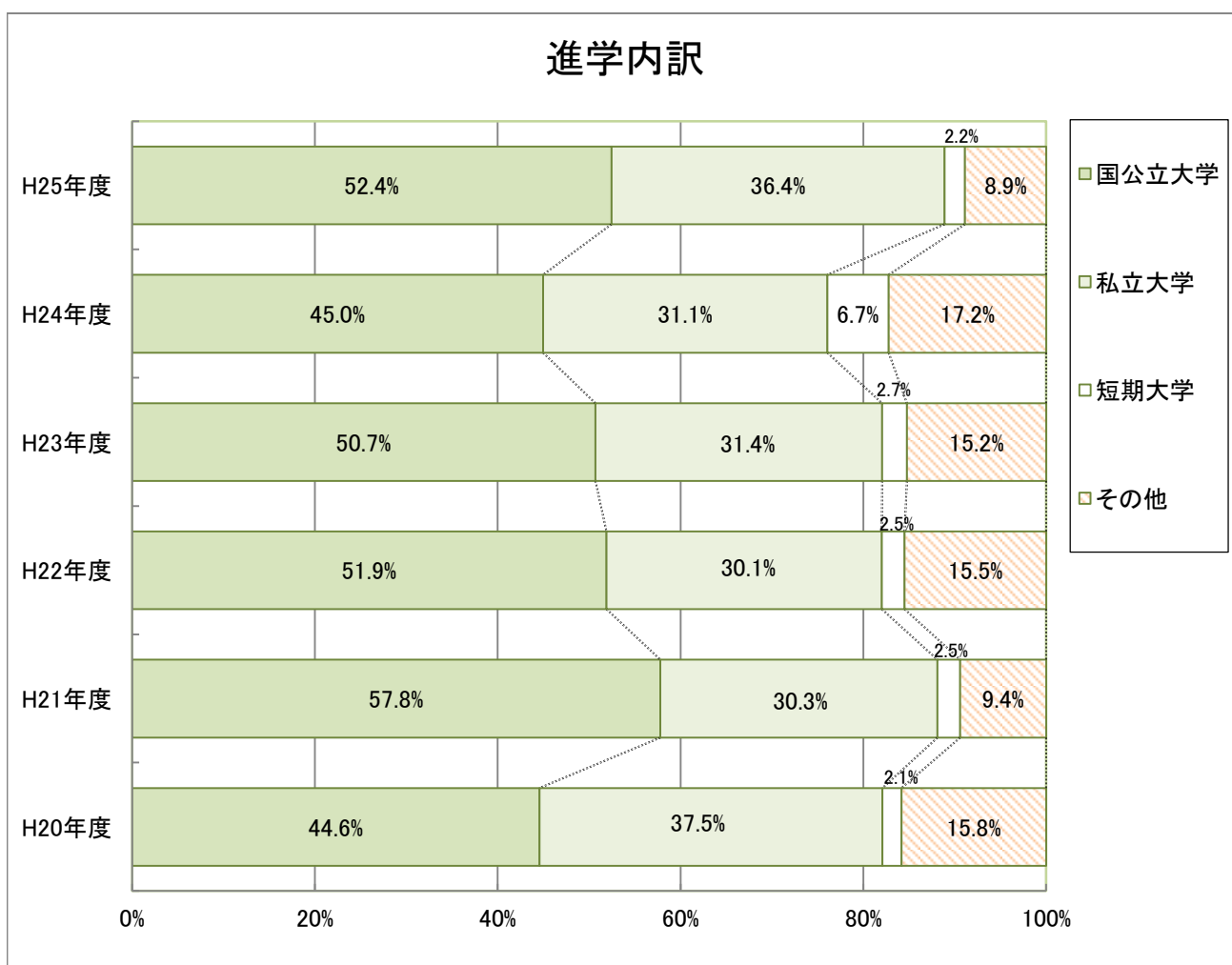


## エ 併設型中高一貫教育校の進路状況

〔一関第一高校〕

卒業年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
学科	普通科・理数科					
卒業生数	243	247	239	230	238	232
進学者数	240	244	239	223	238	225
国公立大学	107	141	124	113	107	118
私立大学	90	74	72	70	74	82
短期大学	5	6	6	6	16	5
その他※	38	23	37	34	41	20
就職者数	2	2	0	2	0	2
その他	1	1	0	5	0	5

※ 大学校（短期大学校含む）、専門学校（専門・一般）、予備校等を含みます。



## オ 併設型中高一貫教育校の検証[一関第一高校附属中学校・一関第一高校]

現 状	メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none"> <li>・附属中学校の志願倍率は、設置後の全ての年度において2倍を超えている。受検生を市町村別に見ると、一関市が59.9%と最も多く、次いで奥州市が19.4%、北上市が6.5%となっている。(過去6年間の合計)</li> <li>・体育祭や合唱コンクール、文化祭、委員会活動等で連携し、異年齢集団による交流を充実させている。</li> <li>・附属中学校の生徒は、中学3年生の秋から高校の部へ仮入部し週に2～3日、中高合同で活動している。</li> <li>・中高合同の教科部会や中高それぞれで実施している授業研修等で授業参観を行う等、中高の垣根を越えた教員相互の交流も見られる。(高校教員による中学校での授業、中学校教員による高校での授業を実施し、中高の円滑な接続に努めている。)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活への意欲が高い生徒が多く、学習や部活動に積極的に取り組み、学校行事が活発に行われている。</li> <li>・異年齢集団での生活を通して、幅広い視野を育むことができる。</li> <li>・教員の相互交流により、お互いの教育活動を充実させることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学3年生にも上級生にあたる高校生がいることで、本来中学3年生が身につけるべき主体性が育ちにくい状況も見られることから、中学校独自の取組の充実が求められている。</li> </ul>

### 附属中学校

	現 状	課 題
学 習 指 導 面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほとんどの生徒は、学習や学校行事等に意欲的に取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習習慣が確立していない生徒は、学習内容が進むにつれ学習の定着に差が見られることから、学習習慣を身につけさせることが求められている。</li> </ul>
生 徒 指 導 面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃活動や挨拶運動、時間を守る活動等には、どの生徒も真面目な取り組みをしている。行事や部活動の取り組みにも一生懸命で協力的な生徒が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションを苦手とする生徒もおり、集団づくりや教育相談等を通して多様な考え方や行動を許容できる環境づくりを模索する必要がある。</li> <li>・電車や自転車の乗車マナー、携帯電話の使用についての指導がより必要となっている。</li> </ul>
進 路 指 導 面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早い時期から具体的な進路について考える生徒が多く、積極的に将来像を模索し、主体的に学習に打ち込んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校での進路学習や講演会等にも生徒・保護者が参加できる体制を作り、中学生へ明確な進路目標をもたせる機会が必要となっている。</li> </ul>
学 校 評 価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年度の学校評価において「学校は一人ひとりの生徒を大切にす姿勢で指導にあたっている」という肯定的な評価が85%となっており、生徒、保護者の評価は概ね良好となっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校入試がないことによる中だるみが生じないように、モチベーションの保持向上を工夫する必要がある。</li> </ul>

### 高校

	現 状	課 題
学 習 指 導 面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・附属中卒業生と他中学校卒業生を合わせたクラス編制にしている。</li> <li>・附属中卒業生は、中学校での学びの効果から授業態度が積極的で授業を牽引する者が多い。他中学校からの進学者も刺激を受け、切磋琢磨しながら学校全体で活発な学習活動が行われている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高い進路希望をもつ生徒が増えている状況に対応する各教科の年間指導計画の作成と教育課程の充実が望まれる。</li> </ul>
生 徒 指 導 面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学式後に新入生に対して宿泊研修を実施し、附属中卒業生と他中学校卒業生の融和を図っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)の使い方等、情報教育を早期段階から指導し、正しい情報モラルの確立を図っていく必要がある。</li> </ul>
進 路 指 導 面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校卒業後、医学部・理工学部等理系学部への進学を望む生徒が比較的多く、進路指導に対する期待が大きい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の進路希望に対応した丁寧な進路指導をさらに行っていく必要がある。</li> </ul>
学 校 評 価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年度の学校評価において「学校は一人ひとりの生徒を大切にす姿勢で指導にあたっている」という肯定的な評価が81%となっており、生徒、保護者の評価は概ね良好となっている。</li> <li>・併設型中高一貫教育校であるとともに、地域の伝統校という側面から地域の活性化に貢献できる人材の育成に期待が寄せられている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒からは部活動の活動場所の確保等、環境整備を期待する声がある。</li> </ul>

(6) 多部制・単位制の現状

ア 県内定時制通信制入学者の推移

<定時制>

(各年5月1日時点)

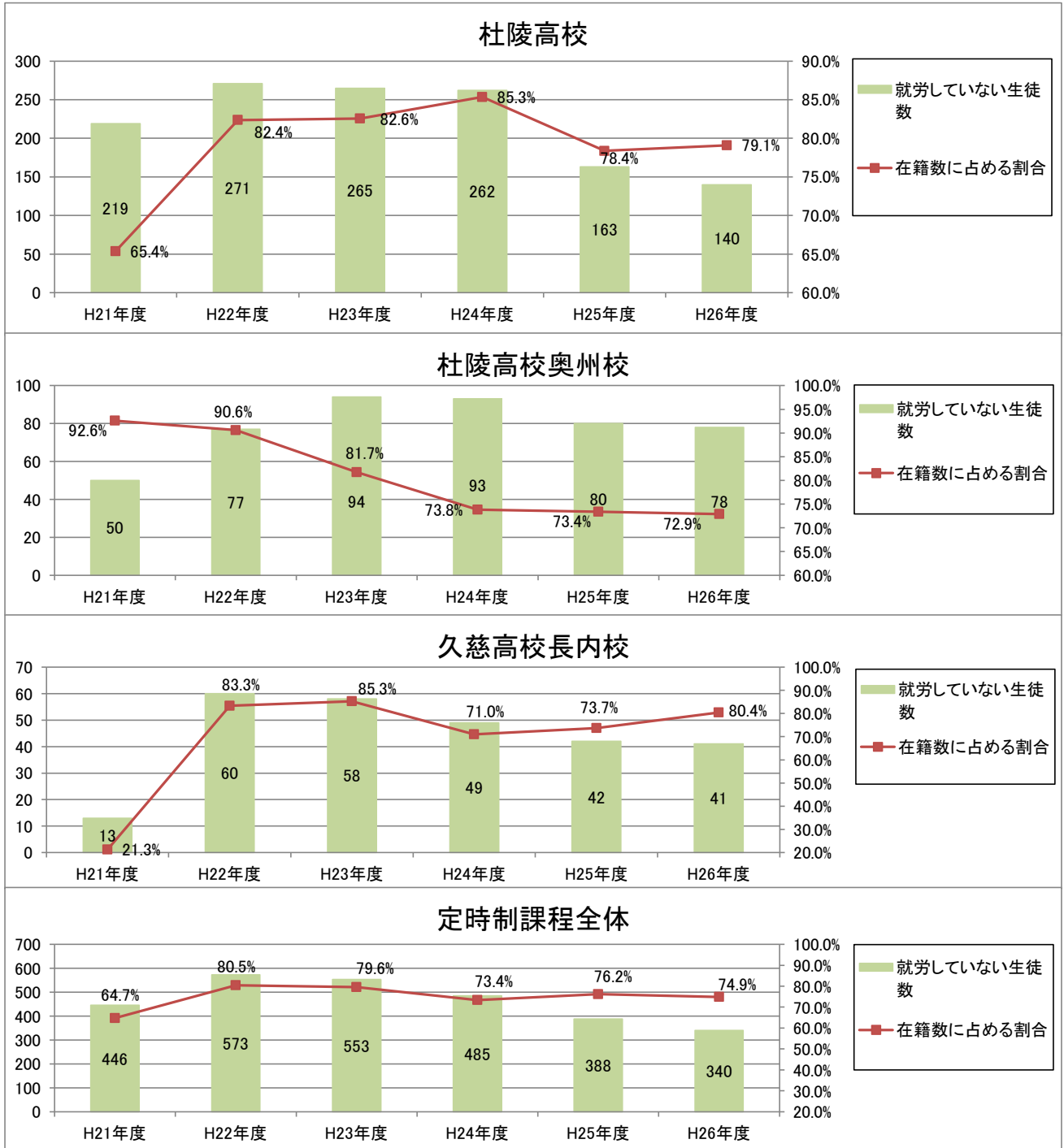
学校名	大学科	学 科 コース	募集 定員	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
杜陵	普通	1・2部	80	108	83	76	40	47
	普通	3部	20	7	7	8	1	4
杜陵奥州	普通	昼間部	30	32	34	35	29	31
	普通	夜間部	30	12	4	4	1	6
盛岡工業	工業	工業	40	17	4	7	2	2
一関第一	普通	普通	40	8	10	5	6	3
大船渡	普通	普通	40	4	7	2	4	4
釜石	普通	普通	40	10	5	10	3	7
宮古	普通	普通	40	14	5	6	5	7
久慈長内	普通	昼間部	40	20	13	15	16	9
	普通	夜間部	40	9	4	4	2	0
福岡	普通	普通	40	9	7	7	6	3
定時制計			480	250	183	179	115	123

<通信制>

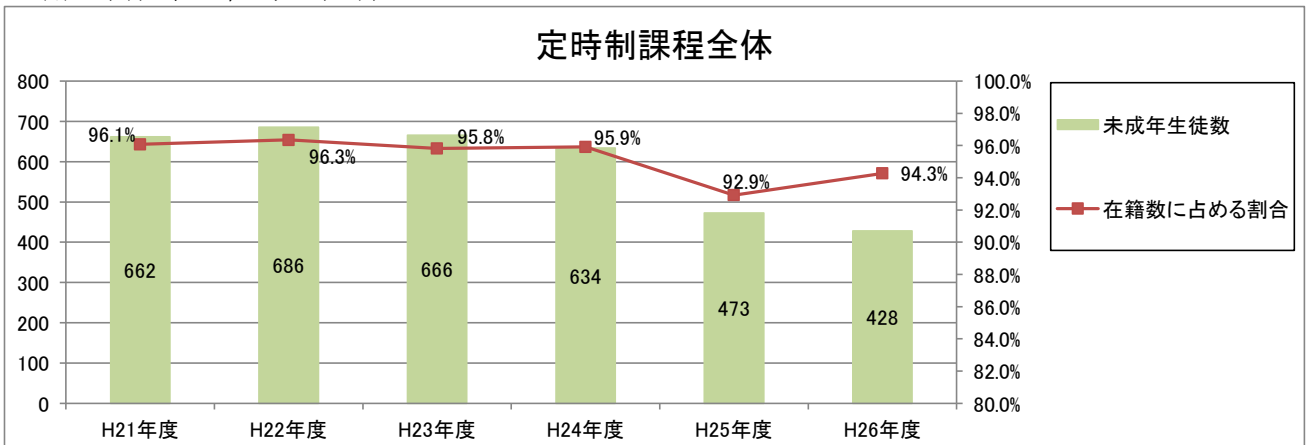
学校名	大学科	学科	募集 定員	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
杜陵(本校)	普通	普通	300	98	81	65	50	55
杜陵奥州校	普通	普通		42	35	22	28	34
杜陵宮古分室	普通	普通		21	10	18	16	19
通信制計			300	161	126	105	94	108

イ 就労していない生徒等の割合、未成年生徒等の割合（定時制課程）

(ア) 就労していない生徒等の割合



(イ) 未成年生徒等の割合



## ウ 通信制課程の現状

### (ア) 転編入の状況（平成26年度入学生）

前籍校種	本校・分室 年次	杜陵高校・本校					杜陵高校・宮古分室					杜陵高校・奥州校					通信制全体				
		1年 ～	2年 ～	3年 ～	4年 ～	計	1年 ～	2年 ～	3年 ～	4年 ～	計	1年 ～	2年 ～	3年 ～	4年 ～	計	1年 ～	2年 ～	3年 ～	4年 ～	計
転 入	全日制普通科 ・総合学科	11				11	7	1			8	8	5	1		14	26	6	1		33
	全日制専門科	4				4	1	1			2	2	1			3	7	2			9
	定時制普通科	3				3						1				1	4				4
	定時制専門科																				
	単位制普通科																				
	通信制普通科																				
	計	18				18	8	2			10	11	6	1		18	37	8	1		46
編 入	前在籍校退学後 1年以内	8				8	5	1			6	2	2			4	15	3			18
	前在籍校退学後 2年以内	3				3						3				3	6				6
	前在籍校退学後 3年以内																				
	前在籍校退学後 3年以上	6				6		1			1	1	2			3	7	3			10
	計	17				17	5	2			7	6	4			10	28	6			34
転編入の合計		35				35	13	4			17	17	10	1		28	65	14	1		80
平成26年度 普通科入学生		55					19					34					108				
転編入生/入学生 ×100		63.6%					89.5%					82.4%					74.1%				

### (イ) 就労していない生徒及び成年生徒の状況（平成26年度）

校名	区分 年次	受 講 登録数	就労していない生徒		成 年 生 徒				
			人数	割合%	20歳代	30歳代	40歳以上	計	割合%
杜 陵 高 校 本 校	1年	55	34	61.8	15	1	1	17	30.9
	2年	42	15	35.7	14	2		16	38.1
	3年	33	11	33.3	6	1	3	10	30.3
	4年	66	13	19.7	41	2	2	45	
	計	196	73	37.2	76	6	6	88	44.9
宮 古 分 室	1年	19	13	68.4	1			1	5.3
	2年	14	10	71.4	1		1	2	14.3
	3年	11	9	81.8					
	4年	5	2	40.0	3			3	60.0
	計	49	34	69.4	5		1	6	12.2
奥 州 校	1年	34	24	70.6	4	1		5	14.7
	2年	26	16	61.5		1		1	3.8
	3年	11	5	45.5	3			3	27.3
	4年	15	4	26.7	5			5	33.3
	計	86	49	57.0	12	2		14	16.3
合計		331	156	47.1	93	8	7	108	32.6

(7) 統合した学校の現状

ア 統合した学校の検証[大東高校・千厩高校・高田高校]

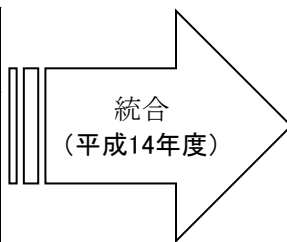
	現 状	成 果	課 題
志 願 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大東高校、千厩高校は年度により志願倍率の上下があるものの、学科間の志願倍率に大きな差はない。</li> <li>・しかしながら高田高校の海洋システム科（水産科）の志願者はH25入試以降、低下している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門学科を志願する生徒は目的意識がしっかりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校によっては生徒の学力差が大きく、個々に対応した指導が求められる。</li> </ul>
専 門 学 科 について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大東高校は商業科、千厩高校は農業科と工業科、高田高校は水産科を併置している。大東高校の商業科と千厩高校の農業科は2年次からコース制としている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資格取得の面では、専門高校に引けをとらない成果を上げている学校もある。</li> <li>・卒業後就職を目指す生徒たちにとって、併置している専門学科の存在意義は大きい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1学年1クラスのため、専門高校に比べると生徒の競争意識に欠けるところがある。</li> <li>・高田高校の海洋システム科（水産科）の施設設備は被災後、整備途上にある。</li> </ul>
学 習 指 導 面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・統合により教員の配置数が維持されているため、開設する科目数も維持されている。</li> <li>・多様な進路希望に対応するための教育課程やクラス編制を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普通科、専門学科がお互いに学習面や資格取得等を通じて刺激しあっており、学校生活の励みとなっている。</li> <li>・普通科と専門学科の教職員がいることで、幅の広い視野で教育活動を展開することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普通科では、国公立大学進学等に対応した教育課程を編成し、週当たりの授業時数を増やしたいと考えているが、専門学科とのバランスもあり対応が難しい。</li> <li>・学力差が大きい高校では、進学指導と基礎基本の定着という両面の指導をする必要があり、広範囲の教材研究が必要となっているため、教員の負担が大きい。</li> </ul>
生 徒 指 導 面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題行動は少なく、概ね落ち着いた学校生活を送っている。</li> <li>・旧市町村単位の生徒指導連絡協議会等を通して、小中学校との情報交換を図っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・統合により学級数が維持され、多くの生徒と交流できる機会に恵まれている。</li> <li>・統合により学校行事が充実し、部の数も維持されていることから、学校の活性化につながっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普通科、専門学科それぞれの行事や資格取得指導があるため、部活動の時間に制約が多い。</li> <li>・学校によっては、特別な支援を必要とする生徒がいる。</li> </ul>
進 路 指 導 面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普通科、専門学科それぞれの特長を生かし、生徒の興味関心や進路希望等に対応している。</li> <li>・大東高校と千厩高校は進学約60%、就職約40%となっている。(H25年度)</li> <li>・高田高校は進学約85%、就職約15%となっている。(H25年度)</li> <li>・インターンシップは専門学科と普通科の就職を希望する生徒が実施している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職希望の生徒が他学科の求人情報を活用できることや専門学科の生徒が進学課外に参加できる体制があり、進路選択の幅を広げることにつながっている。</li> <li>・身近に専門分野を学んでいる生徒が多いことから、職業について具体的なイメージや情報を得ることができる。</li> <li>・専門学科が設置されていることで、キャリア教育が充実しており、普通科単独校より就職指導に厚みがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普通科と専門学科では進路決定までのスケジュールと指導内容が異なるため、教員間の意思疎通を図ることが難しい面がある。</li> </ul>
統 合 の 評 価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評価において「本校に入学して良かった（満足している）」という肯定的な回答が87%となっており、生徒、保護者からは概ね良い評価を得ている。</li> <li>・専門学科が1学級ずつであるため、専門性の確保については、ぎりぎりの状況である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域行事に積極的に参加している学校もあり、地域に必要な高校として評価をいただいている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普通科、専門学科それぞれの教育目標達成のための教育課程編成が難しく、大学進学体制の充実が求められる。</li> <li>・普通科は各種模試、専門学科は学科行事や資格取得等があり、学校として行事の調整が難しく、学校一丸となって取り組む体制が取りにくい。</li> </ul>

## イ 統合前後の学級数等の状況

### 〔千厩高校〕

#### 統合前

千厩高校 (4)	普通科 (4)
千厩東高校 (3)	生産技術科 (1) 産業技術科 (2)



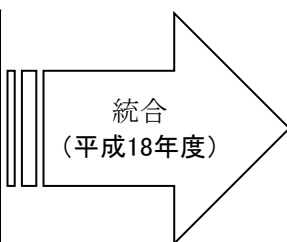
#### 統合後

千厩高校 (7)	普通科 (4)
	生産技術科 (1)
	※産業技術科 (2)

※ 平成15年度に産業技術科を1学級減とする。

#### 再統合前

千厩高校 (6)	普通科 (4)
	生産技術科 (1)
	産業技術科 (1)
藤沢高校 (2)	普通科 (2)



#### 再統合後

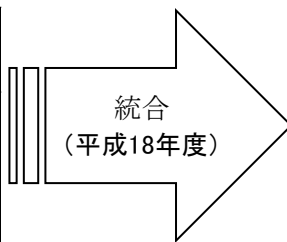
千厩高校 (6)	※普通科 (4)
	生産技術科 (1)
	産業技術科 (1)

※ 平成25年度に普通科を1学級減とする。

### 〔大東高校〕

#### 統合前

大東高校 (4)	普通科 (4)
大原商業高校 (2)	商業科 (1) 情報処理科 (1)



#### 統合後

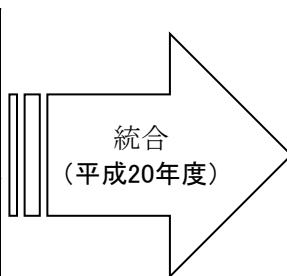
大東高校 (5)	※普通科 (4)
	情報ビジネス科 (1)

※ 平成19年度に普通科を1学級減とする。

### 〔高田高校〕

#### 統合前

高田高校 (4)	普通科 (3)
	情報処理科 (1)
広田水産高校 (2)	水産技術科 (1) 家政科 (1)



#### 統合後

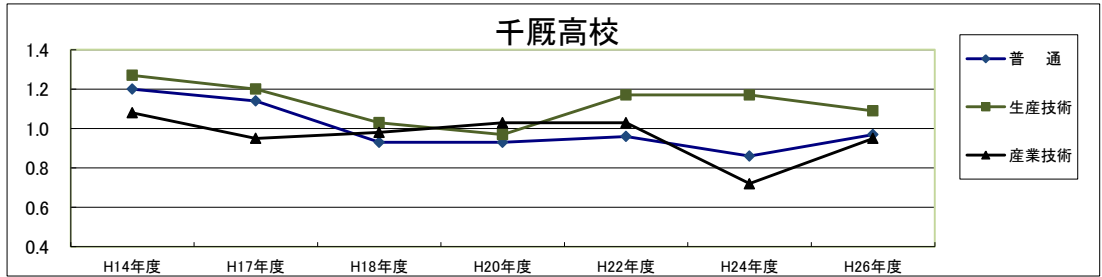
高田高校 (5)	普通科 (4)
	海洋システム科 (1)

## ウ 統合した学校の志願者数及び入学者数の推移

〔千厩高校〕

※志願倍率＝一般志願者数/(定員－推薦合格者数)

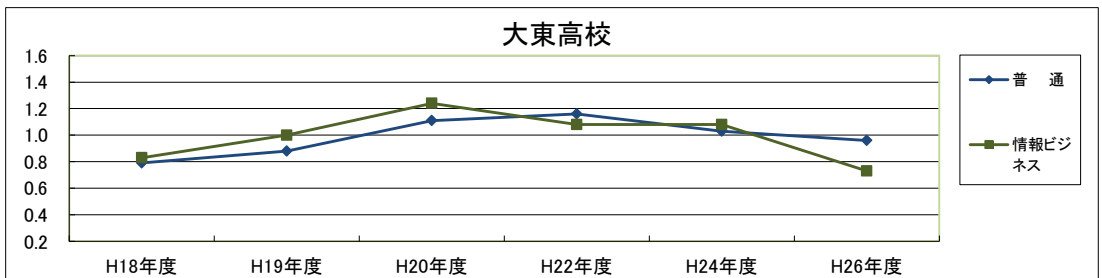
学校名	学科	項目	H14年度	H17年度	H18年度	H20年度	H22年度	H24年度	H26年度	備考
千厩	普通	定員	160	160	160	160	160	160	120	◇平成14年度に千厩高校と千厩東高校が統合  ◇平成18年度、千厩高校は藤沢高校と再統合
		一般志願者数	169	182	149	134	143	131	109	
		志願倍率	1.2	1.14	0.93	0.93	0.96	0.86	0.97	
		入学者数	168	164	152	148	151	139	118	
		過不足	8	4	-8	-12	-9	-21	-2	
	生産技術	定員	40	40	40	40	40	40	40	
		一般志願者数	38	48	41	34	41	42	38	
		志願倍率	1.27	1.2	1.03	0.97	1.17	1.17	1.09	
		入学者数	42	42	40	40	41	41	42	
		過不足	2	2	0	0	1	1	2	
	産業技術	定員	80	40	40	40	40	40	40	
		一般志願者数	80	38	39	37	41	28	35	
志願倍率		1.08	0.95	0.98	1.03	1.03	0.72	0.95		
入学者数		84	40	38	39	40	30	37		
		過不足	4	0	-2	-1	0	-10	-3	



〔大東高校〕

※志願倍率＝一般志願者数/(定員－推薦合格者数)

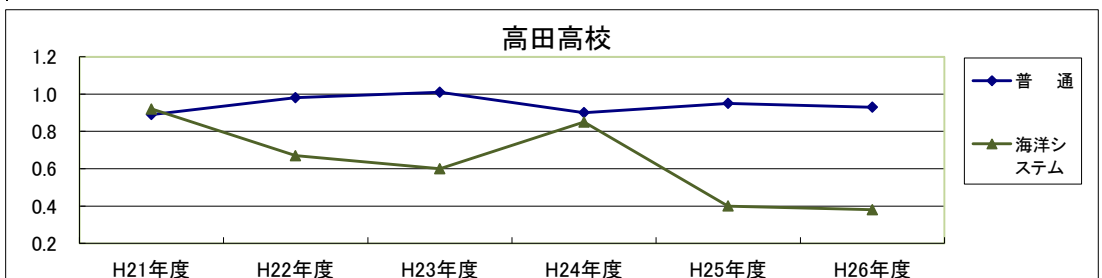
学校名	学科	項目	H18年度	H19年度	H20年度	H22年度	H24年度	H26年度	備考
大東高校	普通	定員	160	120	120	120	120	120	◇平成18年度、大東高校と大原商業高校が統合
		一般志願者数	127	99	120	125	110	105	
		志願倍率	0.79	0.88	1.11	1.16	1.03	0.96	
		入学者数	131	118	123	121	120	115	
		過不足	-29	-2	3	1	0	-5	
	情報ビジネス	定員	40	40	40	40	40	40	
		一般志願者数	33	37	47	39	41	29	
		志願倍率	0.83	1	1.24	1.08	1.08	0.73	
		入学者数	35	40	42	40	41	28	
		過不足	-5	0	2	0	1	-12	



〔高田高校〕

※志願倍率＝一般志願者数/(定員－推薦合格者数)

学校名	学科	項目	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	備考
高田高校	普通	定員	160	160	160	160	160	160	◇平成20年度、高田高校と広田水産高校が統合
		一般志願者数	133	142	155	132	142	137	
		志願倍率	0.89	0.98	1.01	0.9	0.95	0.93	
		入学者数	143	157	155	146	151	147	
		過不足	-17	-3	-5	-14	-9	-13	
	海洋システム	定員	40	40	40	40	40	40	
		一般志願者数	34	26	24	33	16	15	
		志願倍率	0.92	0.67	0.6	0.85	0.4	0.38	
		入学者数	36	28	25	34	15	16	
		過不足	-4	-12	-15	-6	-25	-24	

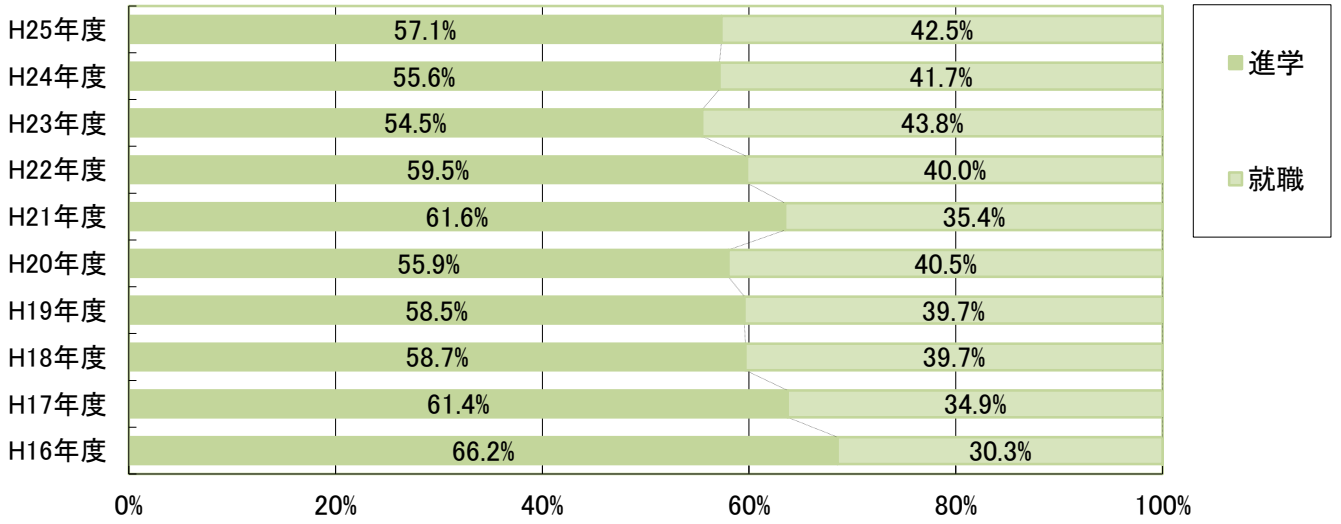




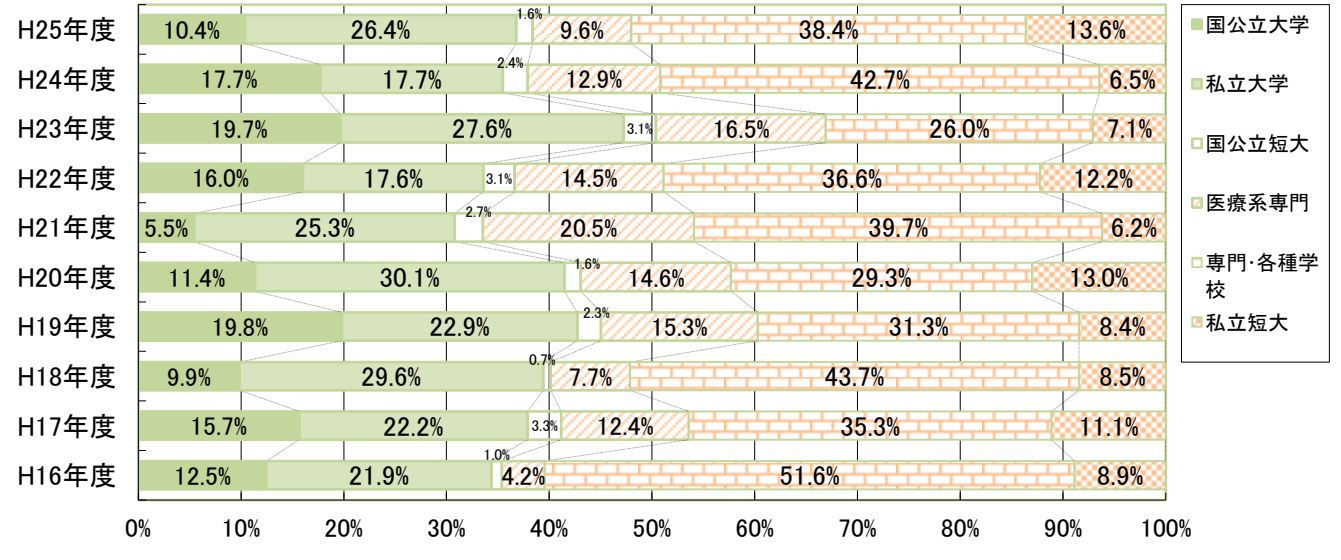
エ 統合した学校の進路状況  
〔千厩高校〕

卒業年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
学科	普通・生産技術・産業技術科									
卒業生数	290	249	242	224	220	237	220	233	223	219
進学	192	153	142	131	123	146	131	127	124	125
国公立大学	24	24	14	26	14	8	21	25	22	13
私立大学	42	34	42	30	37	37	23	35	22	33
国公立短大	2	5	1	3	2	4	4	4	3	2
私立短大	17	17	12	11	16	9	16	9	8	17
医療系専門	8	19	11	20	18	30	19	21	16	12
専門・各種学校	99	54	62	41	36	58	48	33	53	48
就職	88	87	96	89	89	84	88	102	93	93
民間	87	79	90	82	85	77	83	97	89	91
公務員	1	8	6	7	4	7	5	5	4	2
その他	10	9	4	4	8	7	1	4	6	1

千厩高校進路状況



千厩高校進学内訳

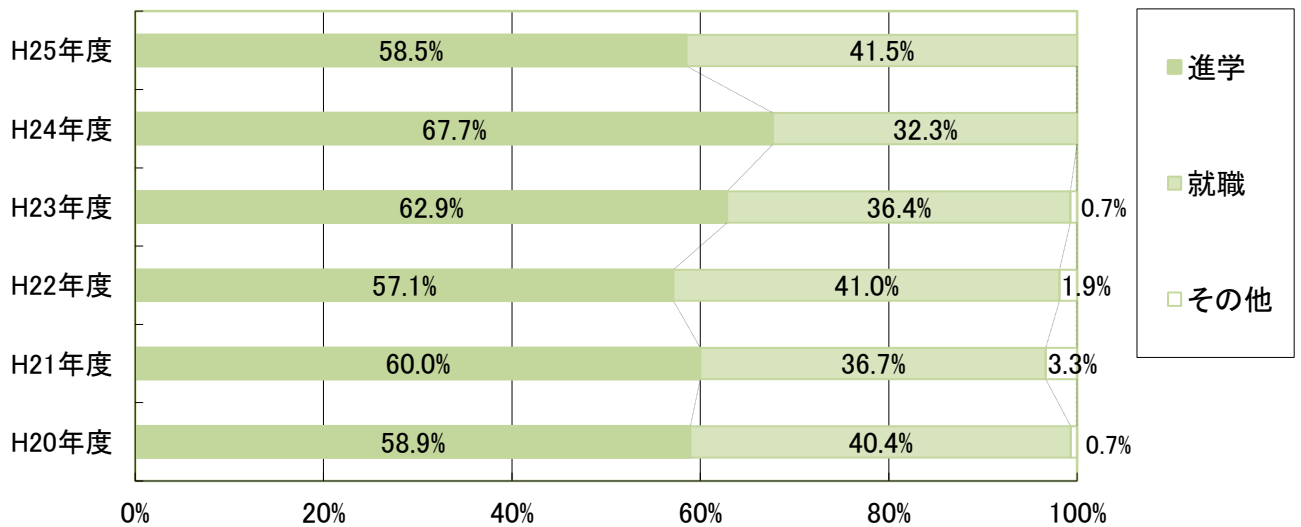


エ 統合した学校の進路状況(つづき)

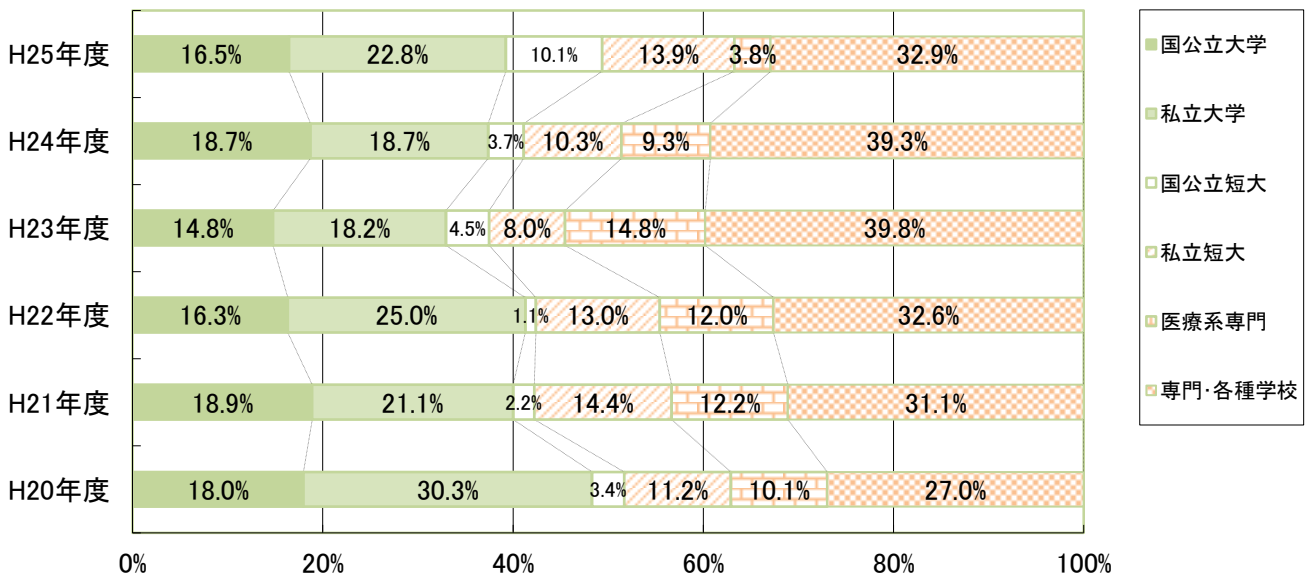
[大東高校]

卒業年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
学科	普通・情報ビジネス科							
卒業生数	182	162	151	150	161	140	158	135
進学	110	92	89	90	92	88	107	79
国公立大学	27	20	16	17	15	13	20	13
私立大学	31	17	27	19	23	16	20	18
国公立短大	2	2	3	2	1	4	4	8
私立短大	10	7	10	13	12	7	11	11
医療系専門	5	8	9	11	11	13	10	3
専門・各種学校	35	38	24	28	30	35	42	26
就職	72	68	61	55	66	51	51	56
民間	68	65	57	51	63	49	50	54
公務員	4	3	4	4	3	2	1	2
その他	0	2	1	5	3	1	0	0

大東高校進路状況



大東高校進学内訳

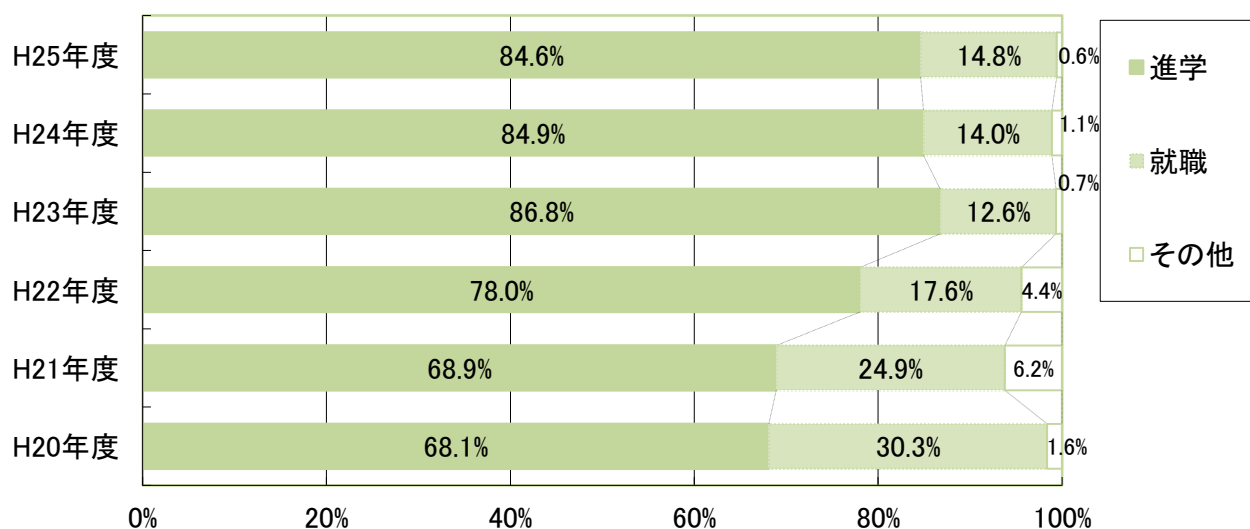


## エ 統合した学校の進路状況(つづき)

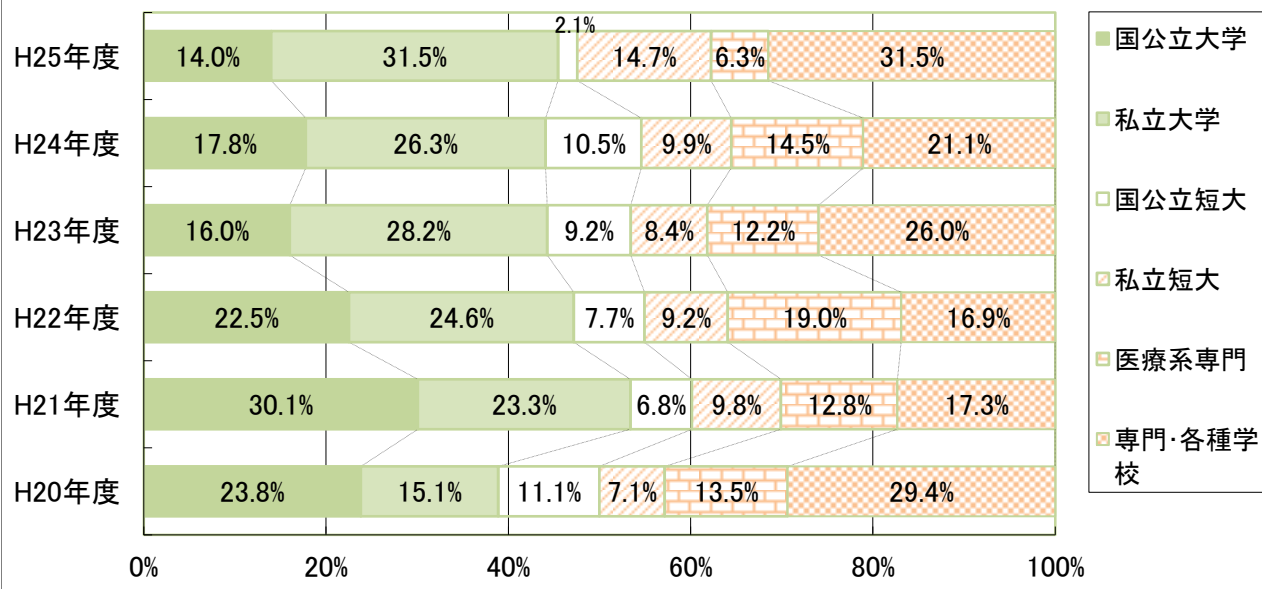
[高田高校]

卒業年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
学科	普通・海洋システム科					
卒業生数	185	193	182	151	179	169
進学	126	133	142	131	152	143
国公立大学	30	40	32	21	27	20
私立大学	19	31	35	37	40	45
国公立短大	14	9	11	12	16	3
私立短大	9	13	13	11	15	21
医療系専門	17	17	27	16	22	9
専門・各種学校	37	23	24	34	32	45
就職	56	48	32	19	25	25
民間	54	48	27	18	21	20
公務員	2	0	5	1	4	5
その他	3	12	8	1	2	1

### 高田高校進路状況



### 高田高校進学内訳



オ 統合前後の教員数等の状況

高校名 学科名(学級数)		統 合 前				高校名 学科名(学級数)		統 合 後 (統合3年目)			
		募集 定員	教員数	科目数	部活動			募集 定員	教員数	科目数	部活動
H17	千厩高校 普通(4) 生産技術(1) 産業技術(1)	240	50	普通科 43	22	H20	千厩高校 普通(4) 生産技術(1) 産業技術(1)	240	49	普通科 44	22
	専門 学科 31~39			専門 学科 31~39							
	藤沢高校 普通(2)	80	20	28	8						
H17	大東高校 普通(4)	160	29	41	17	H20	大東高校※ 普通(3) 情報ビジ ネス(1)	160	36	普通科 46	22
	大原商業高校 商業(1) 情報処理(1)	80	21	29	11					情報ビジ ネス科 35	
H19	高田高校 普通(3) 情報処理(1)	160	35	※40	※18	H22	高田校校 普通(4) 海洋システ ム(1)	200	44	普通科 39	18
	広田水産高校 水産技術(1) 家政(1)	80	21	24~28	10					海洋システ ム科 31	

※ 高田高校統合前科目、部活動数は、東日本大震災津波の被害により、正確な数値が確認できないため推計値となっている。

※ 大東高校は、平成19年度に普通科を1学級減としている。

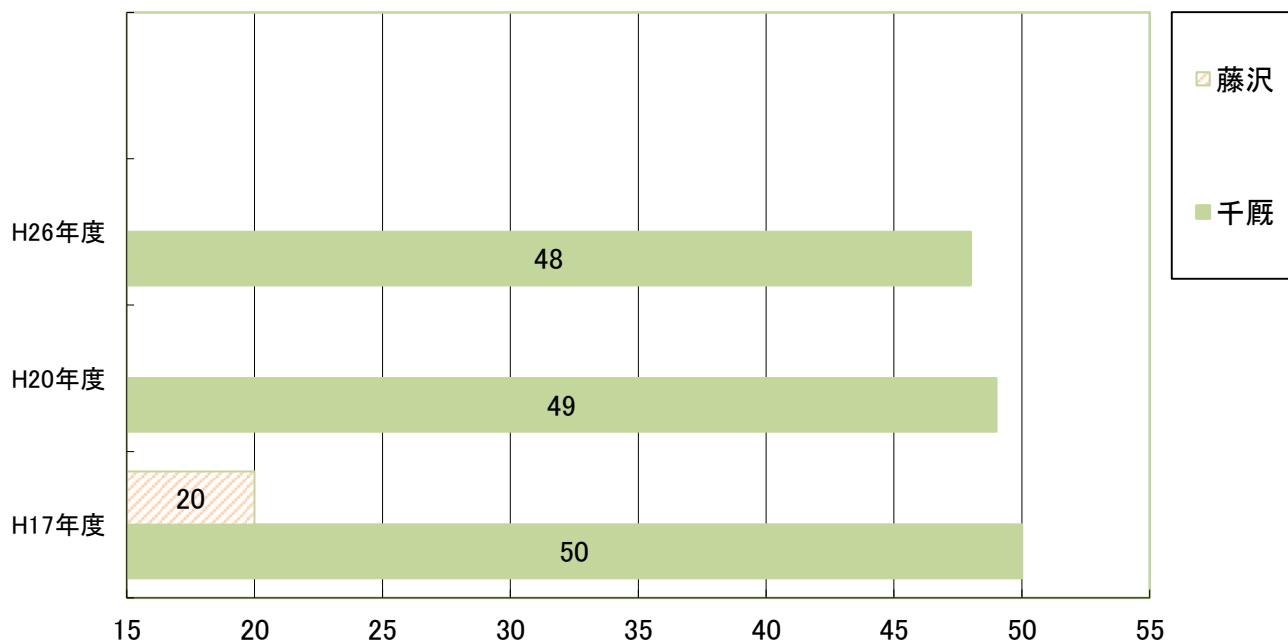
カ 教員配置数、開設科目数、部活動数の状況

〔千厩高校〕

教員配置数

年度	学校名	学科（全学級数）	教諭										常勤講師	非常勤講師	合計
			国語	地歴・公民	数学	理科	英語	保体	芸術	家庭	専門	計			
H17 (統合前)	千厩	普通科(12) 生産技術科(3) 産業技術科(3)	5	6	6	5	7	4	3	4	10	50	※ 常勤講師、 非常勤講師 は各教科に 含む		
	藤沢	普通科(6)	2	2	3	2	3	2	3	1	2	20			
H20 (統合3年目)	千厩	普通科(12) 生産技術科(3) 産業技術科(3)	6	6	6	5	6	4	3	4	9	49			
H26 (統合9年目)	千厩	普通科(11) 生産技術科(3) 産業技術科(3)	6	6	5	4	5	3	2	4	9	44	3	1	48

教員配置数の状況

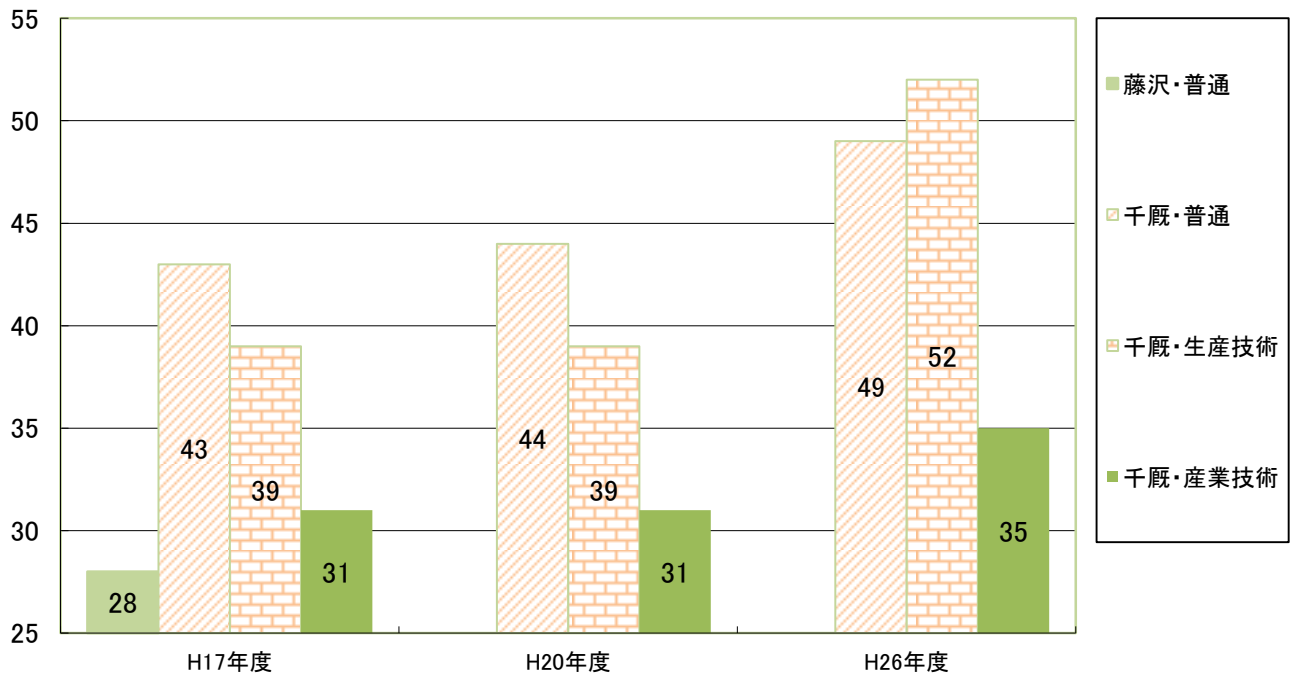


〔千厩高校〕(つづき)  
開設科目数

年度	学校名	学科 (全学級数)	教科											合計
			国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	保体	芸術	家庭	情報	専門	
H17 (統合前)	千厩	普通科(12)	4	3	2	6	8	5	2	9	1	1	2	43
		生産技術科(3)	3	3	2	3	2	3	2	3	1	0	17	39
		産業技術科(3)	2	2	1	4	2	3	2	3	1	0	11	31
	藤沢	普通科(6)	4	3	2	4	4	5	2	3	1	1	6	28
H20 (統合3年目)	千厩	普通科(12)	4	6	1	6	8	6	2	9	1	1	0	44
		生産技術科(3)	3	3	2	3	2	3	2	3	1	0	17	39
		産業技術科(3)	2	2	2	4	2	3	2	3	1	0	10	31
H26 (統合9年目)	千厩	普通科(11)	6	9	2	5	7	8	3	6	1	1	1	49
		生産技術科(3)	4	3	2	3	2	4	3	3	1	0	27	52
		産業技術科(3)	3	2	1	4	3	3	3	3	1	0	12	35

※ 平成26年度は新学習指導要領における科目と現行学習指導要領における科目が開設されていたため、開設科目数が多くなっている。なお、全日制課程においては、平成27年度からは、新学習指導要領による科目に統一されるものである。

開設科目数の状況

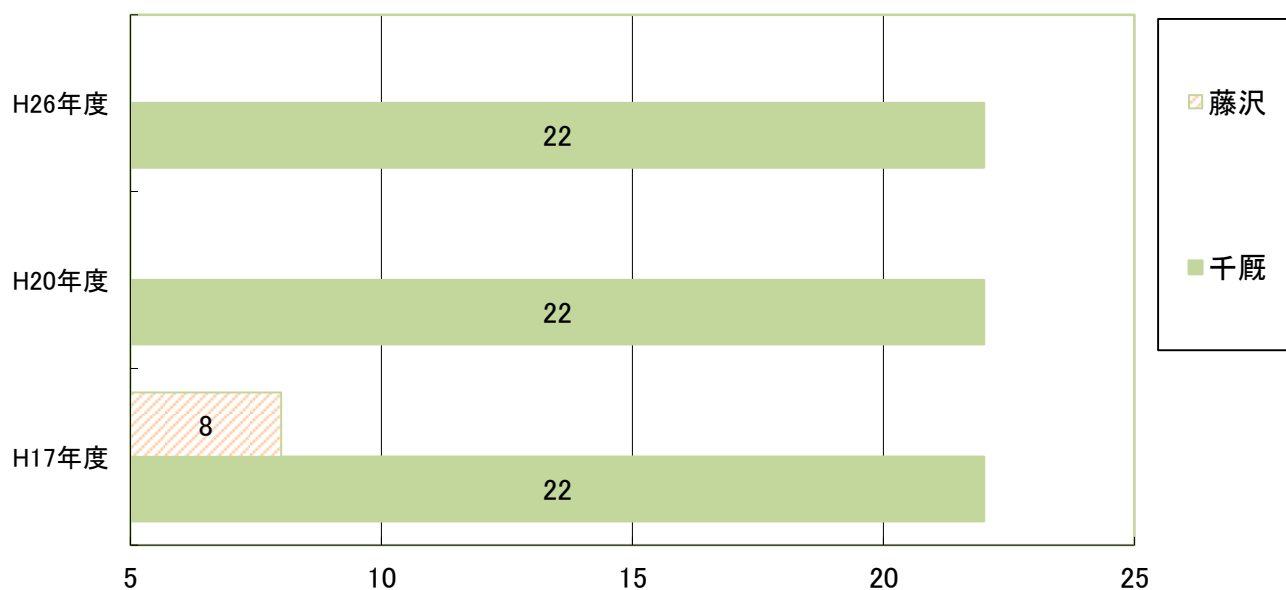


〔千厩高校〕(つづき)

部活動数

年度	学校名	学科 (全学級数)	運動部	文化部	合計
H17 (統合前)	千厩	普通科(12) 生産技術科(3) 産業技術科(3)	14	8	22
	藤沢	普通科(6)	5	3	8
H20 (統合3年目)	千厩	普通科(12) 生産技術科(3) 産業技術科(3)	14	8	22
H26 (統合9年目)	千厩	普通科(11) 生産技術科(3) 産業技術科(3)	14	8	22

部活動数の状況



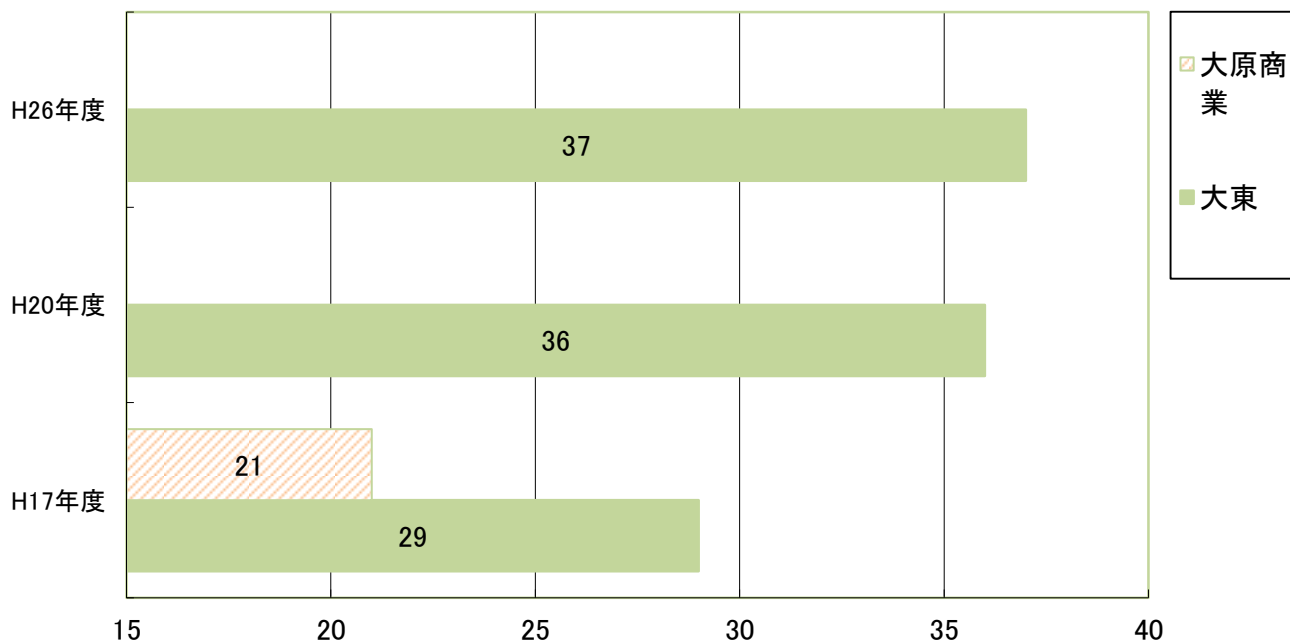
カ 教員配置数、開設科目数、部活動数の状況(つづき)

〔大東高校〕

教員配置数

年度	学校名	学科 (全学級数)	教諭										常勤講師	非常勤講師	合計
			国語	地歴・公民	数学	理科	英語	保体	芸術	家庭	専門	計			
H17 (統合前)	大東	普通科(12)	5	4	4	4	5	3	2	1	1	29	※ 常勤講師、 非常勤講師 は各教科に 含む		
	大原 商業	商業科(3) 情報処理科(3)	2	1	1	1	2	2	2	1	9	21			
H20 (統合3年目)	大東	普通科(10) 情報ビジネス 科(3)	5	4	5	5	5	3	2	1	6	36			
H26 (統合9年目)	千厩	普通科(10) 情報ビジネス 科(3)	4	3	5	4	5	2	1	1	5	30	6	1	37

教員配置数の状況





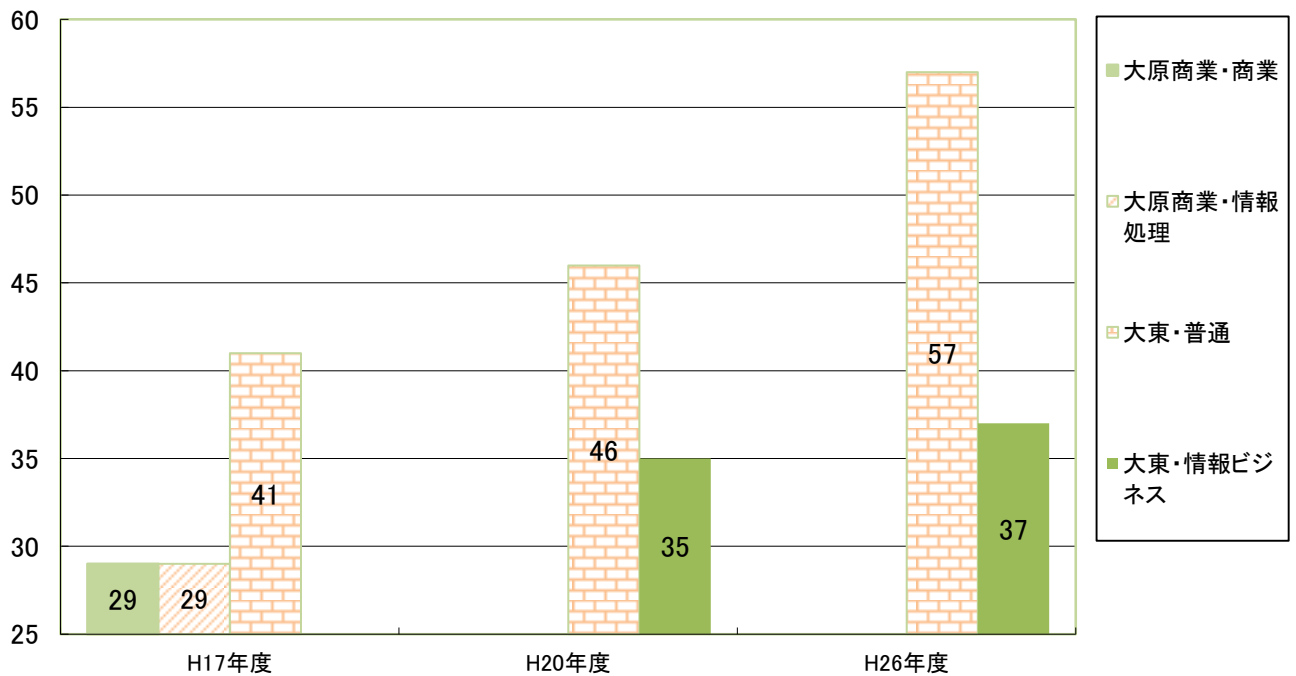
〔大東高校〕(つづき)

開設科目数

年度	学校名	学科 (全学級数)	教科												合計
			国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	保体	芸術	家庭	情報	専門		
H17 (統合前)	大東	普通科(12)	5	3	2	6	8	5	2	6	1	1	2	41	
	大原 商業	商業科(3)	2	2	1	3	2	3	2	2	1	0	11	29	
		情報処理科(3)	2	2	1	3	2	3	2	2	1	0	11	29	
H20 (統合3年目)	大東	普通科(10)	5	6	2	6	9	5	2	6	1	1	3	46	
		情報ビジネス 科(3)	3	2	1	3	2	3	2	2	1	0	16	35	
H26 (統合9年目)	大東	普通科(10)	6	9	3	6	10	7	3	6	1	1	5	57	
		情報ビジネス 科(3)	4	3	0	3	3	2	3	2	1	0	16	37	

※ 平成26年度は新学習指導要領における科目と現行学習指導要領における科目が開設されていたため、開設科目数が多くなっている。なお、全日制課程においては、平成27年度からは、新学習指導要領による科目に統一されるものである。

開設科目数の状況

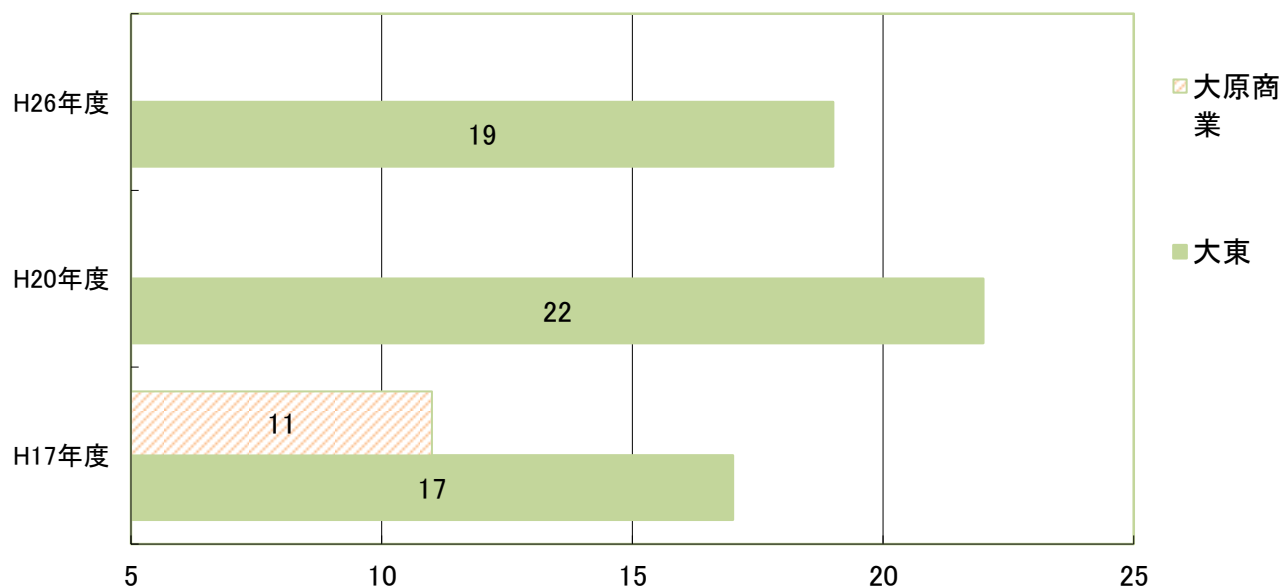


〔大東高校〕(つづき)

部活動数

年度	学校名	学科 (全学級数)	運動部	文化部	特別部	合計
H17 (統合前)	大東	普通科(12)	11	6	0	17
	大原 商業	商業科(3) 情報処理科(3)	6	3	2	11
H20 (統合3年目)	大東	普通科(10) 情報ビジネス科(3)	12	9	1	22
H26 (統合9年目)	大東	普通科(10) 情報ビジネス科(3)	11	8	0	19

部活動数の状況



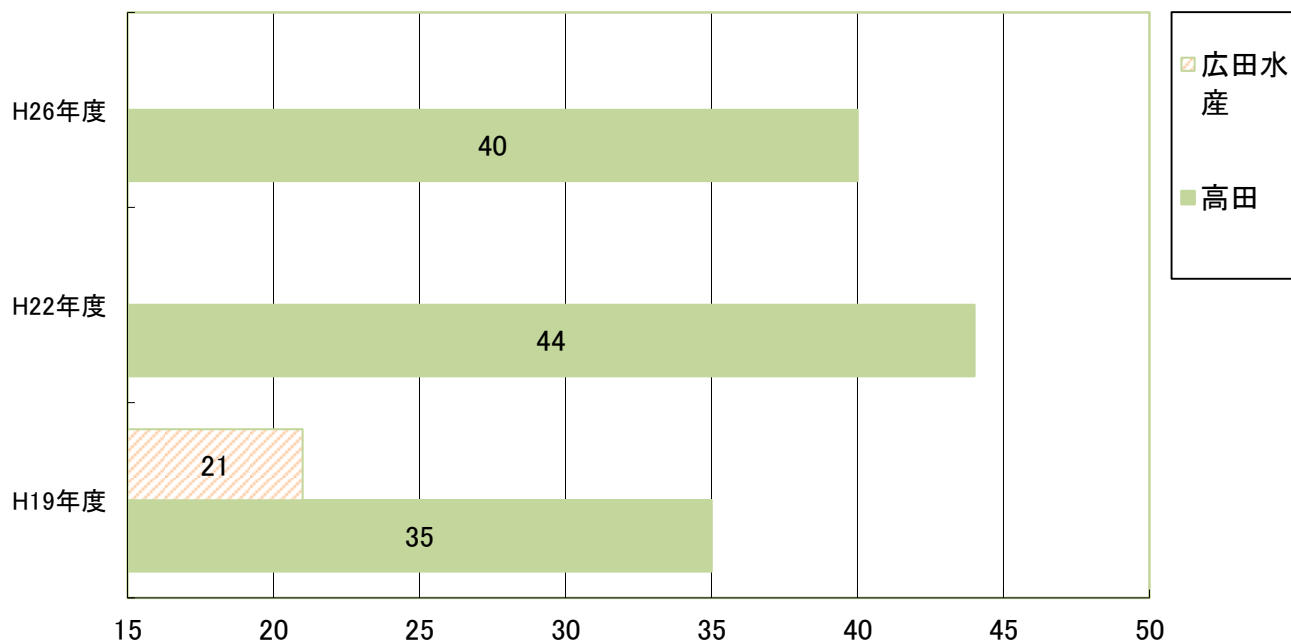
カ 教員配置数、開設科目数、部活動数の状況(つづき)

〔高田高校〕

教員配置数

年度	学校名	学科 (全学級数)	教諭										常勤講師	非常勤講師	合計
			国語	地歴・公民	数学	理科	英語	保体	芸術	家庭	専門	計			
H19 (統合前)	高田	普通科(9) 情報処理科(3)	4	4	5	4	4	2	1	1	4	29	4	2	35
	広田 水産	水産技術科(3) 家政科(3)	2	1		1	2	2		4	5	17	2	2	21
H22 (統合3年目)	高田	普通科(11) 海洋システム 科(3)	5	5	6	4	7	4	1	1	4	37	4	3	44
H26 (統合9年目)	高田	普通科(12) 海洋システム 科(3)	4	5	6	4	7	4	1	1	3	35	4	1	40

教員配置数の状況

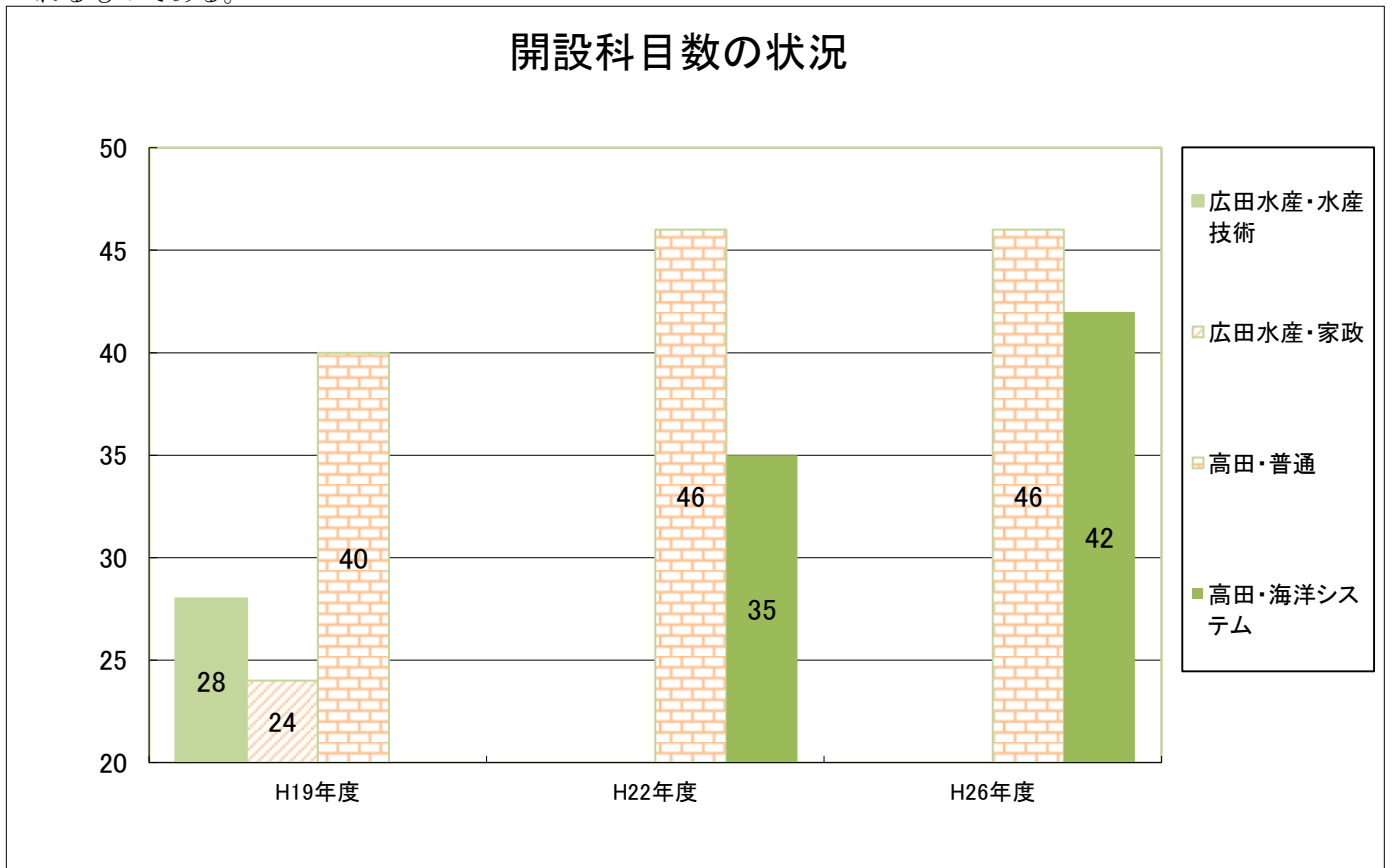


〔高田高校〕(つづき)  
開設科目数

年度	学校名	学科 (全学級数)	教科											合計
			国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	保体	芸術	家庭	情報	専門	
H19 (統合前)	高田	普通科(9) 情報処理科(3)	3	6	2	6	8	5	2	6	1	1	0	40
		広田 水産	水産技術科(3)	2	2	1	2	3	2	2	1	1		12
		家政科(3)	2	2	1	2	3	2	2	1	1		8	24
H22 (統合3年目)	高田	普通科(11)	5	6	2	6	9	5	2	6	1	1	3	46
		海洋システム 科(3)	3	2	1	3	2	3	2	2	1	0	16	35
H26 (統合7年目)	高田	普通科(12)	5	9	2	5	7	7	3	6	1	1	0	46
		海洋システム 科(3)	2	3	1	2	3	3	3	3	1	1	20	42

※ 高田高校統合前科目数は、東日本大震災津波の被害により、正確な数値が確認できないため推計値となっている。

※ 平成26年度は新学習指導要領における科目と現行学習指導要領における科目が開設されていたため、開設科目数が多くなっている。なお、全日制課程においては、平成27年度からは、新学習指導要領による科目に統一されるものである。

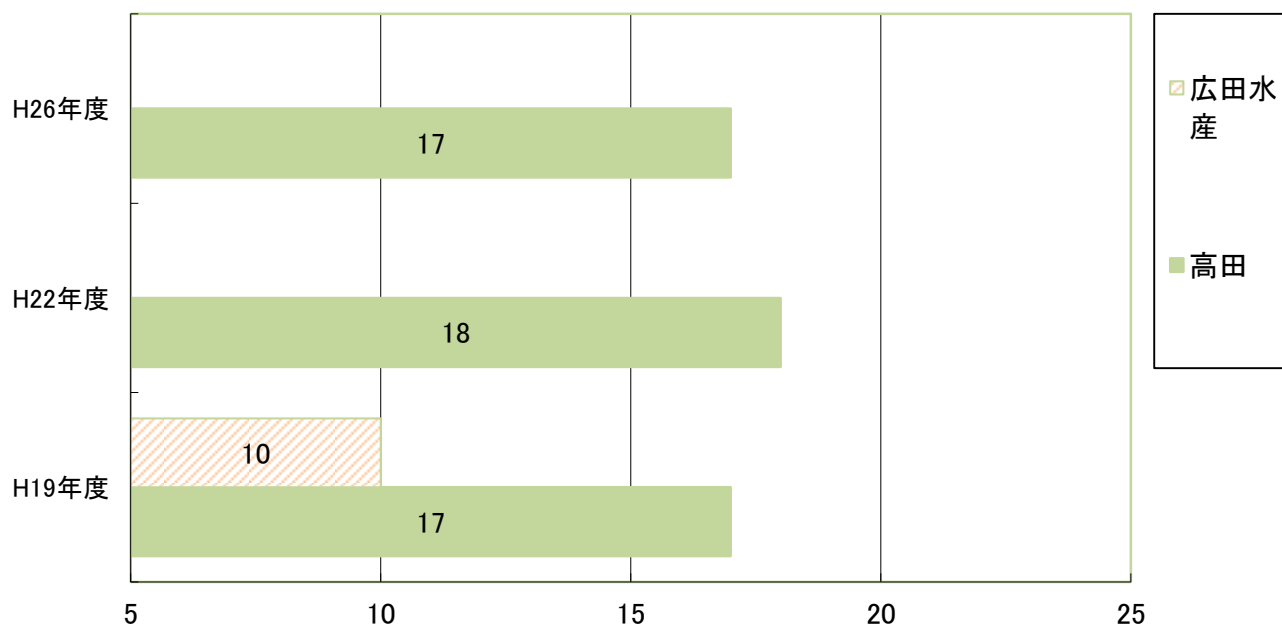


〔高田高校〕(つづき)

部活動数

年度	学校名	学科 (全学級数)	運動部	文化部	合計
H19 (統合前)	高田	普通科(9) 情報処理科(3)	11	6	17
	広田 水産	水産技術科(3) 家政科(3)	7	3	10
H22 (統合3年目)	高田	普通科(10) 情報ビジネス科(3)	11	7	18
H26 (統合7年目)	高田	普通科(12) 海洋システム科(3)	11	6	17

部活動数の状況



※ 高田高校統合前部活動数は、東日本大震災津波の被害により、正確な数値が確認できないため推計値となっている。